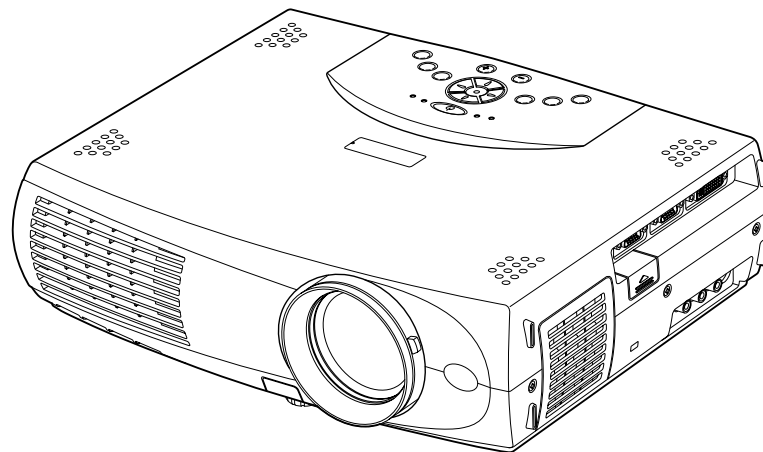


エルモ液晶データプロジェクター取扱説明書

形名

EDP-4800



- このたびはエルモ液晶データプロジェクターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めの液晶データプロジェクターを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の意味]

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること”を示します。
 注意	“誤った取り扱いをすると人が ^{※1} 傷害を負う可能性、または物的損害の ^{※2} みが発生する可能性のあること”を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。

※2：物的損害とは、建物・動産などにかかわる拡大損害をいいます。

[図記号の説明]

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

警告

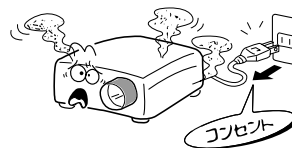
◆異常や故障のとき

■煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態や故障のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

煙などが出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

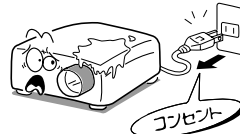


■内部に水や異物が入ったら、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



プラグを抜け



(つづく)

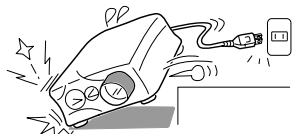
警告

■落したり、キャビネットなどを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



プラグを抜け



■電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



プラグを抜け



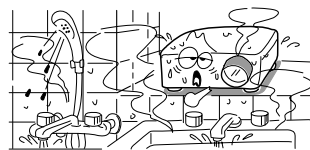
◆設置されるとき

■屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。



水かけ禁止

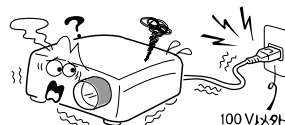


■電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



強制

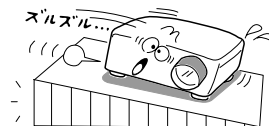


■ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。



禁止



■上に物を置かないこと

●金属類や、花びん・コップなどに入った液体や化粧液などが内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。



上載せ禁止



⚠ 警告

◆ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと

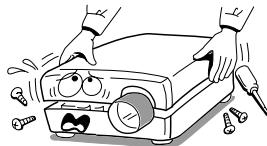
火災・感電の原因となります。

点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。



分解禁止



■通風孔などから異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

特にお子様のいる環境ではご注意ください。



異物挿入禁止

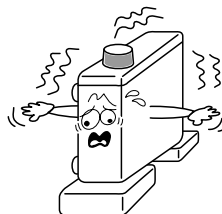


■たてて使用しないこと

天井に投写するなど、本機をたてて使用したり、その他の垂直設置をすると、倒れてけがや故障の原因となります。



禁止



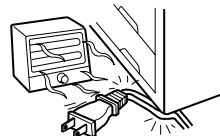
■電源コードは

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。



禁止



■水にぬらさないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

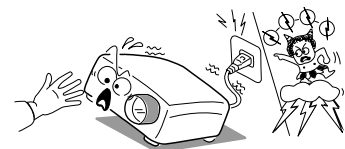


■雷が鳴りだしたら、本体、接続ケーブル、電源プラグなどに触れないこと

感電の原因となります。



接触禁止



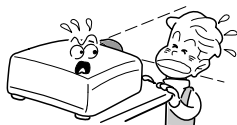
警告

■点灯中はレンズや通風孔をのぞかないこと

点灯している状態でレンズおよび通風孔をのぞき込まないでください。強い光が出ていますので視力障害などの原因となります。



禁止



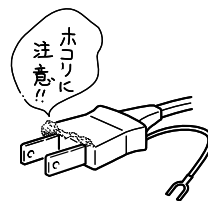
◆お手入れについて

■電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。



強制



■ランプ交換は必ず本機専用の EDPL70 (別売)を使用すること

EDPL70以外を使用すると故障や破損してけがの原因となります。また、古いランプは使用しないでください。



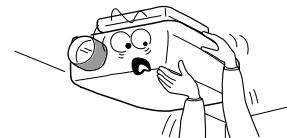
強制

■天吊り使用時のランプ交換、フィルターなどの清掃は販売店に依頼すること

高所での作業をお客様ご自身で行うと、転落などによりけがの原因となります。



禁止



⚠ 注意

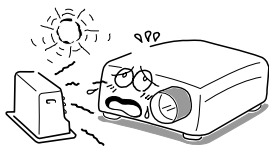
◆設置されるとき

■温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉めきった自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



禁 止



■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁 止



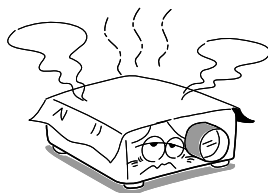
■設置の際は通風孔をふさがないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。



禁 止

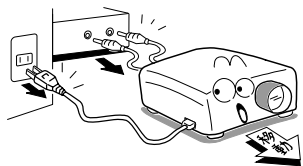


■移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがや、接続線などをはずさずに運ぶと、本体が転倒し、けがの原因となることがあります。



強 制

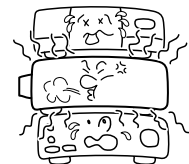


■本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せないこと

天板、底板が熱くなりますので、他の機器へ損害を与えることがあります。



禁 止



■電源プラグのアース端子は、必ずアースに接続すること

接続しないとラジオ、テレビ等に受信障害を与えることがあります。



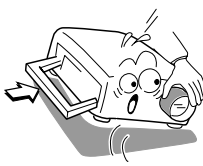
強 制

■本体を持ち運ぶときは必ずハンドルを持って運ぶこと

レンズ部分は持たないでください。破損やけがの原因となります。



禁 止



⚠ 注意

◆ご使用になるとき

■電源プラグを抜く場合は、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



引っ張り禁止

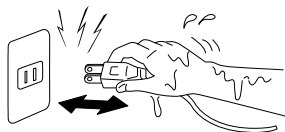


■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

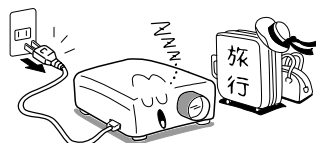


■旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



プラグを抜け



■通風孔、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、触ったり、通風孔の近くに他の機器を設置したりしないでください。



接触禁止

■リモコンのレーザー発光部をのぞいたり、レーザー光を人や鏡に向けて放射しないこと

眼にレーザー光が当たると視力障害の原因となります。



禁止

⚠ 注意

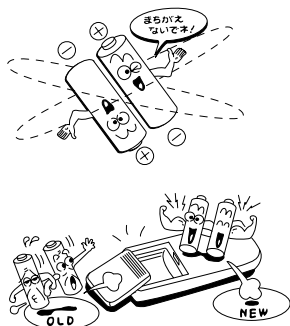
■リモコンに使用している乾電池は、

- 単三形アルカリ電池以外の電池は使用しないこと。
- 極性表示[(+)と(-)]を間違えて挿入しないこと。
- 充電・加熱・分解・ショート・火の中に入れないこと。
- 乾電池に表示されている[使用推奨期間]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと。

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



禁 止



■点灯中にレンズをふさいだり、前にものを置いたりしないこと

熱で変形したり、溶けたりすることがあります。



禁 止

◆お手入れについて

■ランプ交換するときは、電源を切り、必ず1時間以上たって、本体が冷えてから行うこと

光源ランプユニットは高温となっている部分がありますので特にご注意ください。やけど・けがの原因となります。



強 制

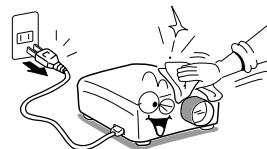
- 本機のランプには、環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのランプは、破損させないように取扱に注意し、蛍光灯など同様の有害ごみとして分別廃棄してください。また、分別収集している自治体では、その条例に基づいて廃棄してください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行うこと

感電の原因となることがあります。



プラグを抜け

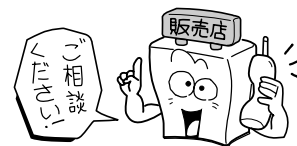


■定期的に本体内部の清掃をお買い上げの販売店にご相談ください

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。内部の清掃費用についても、お買い上げの販売店にご相談ください。



強 制



⚠ 注意

◆ランプについて

本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使われています。このランプには下記の特性がありますので、内容をよく理解して、取扱には十分注意してください。

- 衝撃や劣化などによって、ランプが破裂して大きな音がしたり、寿命が尽きて点灯しなくなることがあります。
- 破裂や寿命に至るまでの時間には、ランプによって大きな差があり、まれに使い始めてまもなく破裂することもあります。
- 交換時期を過ぎて使用すると、破裂しやすくなります。
- ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、通気孔などから外に出たりすることがあります。
- ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉塵とともに本機の排気孔などから放出されることがあります。

※ランプに使われている微量の無機水銀は、体温計や蛍光灯などに使われている水銀と同様に、人体や環境に有害な物質とされています。

■画面にランプ交換の表示が出たら、すみやかに新しいランプに交換してください

- 交換時期になると「ランプが寿命です。交換してください。」というメッセージが画面に表示されます。
- そのまま使い続けると、破裂する可能性が高くなります。
- 時々ランプの使用時間を確認して、交換時期が近づいたら新しいランプをご用意ください。（41 ページの「情報を表示する」をご覧ください。）

■ランプが割れた際には・・・

- 万一、ランプやレンズなどのガラス部品が割れた際には、ガラス破片でけがなどをしないように取扱に注意し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 万一、ランプが破裂した際には、本機の電源コードを抜き、退室して室内を十分に換気してください。その後、本機の周囲を念入りに清掃して、その場に置かれていた食品は捨ててください。

- ランプが破裂した際に、ガラスの粉塵や水銀ガスが目に入ったり、吸い込んだりしたときは、すみやかに医師に相談してください。（本機の排気孔から出る風を肌で感じる場所に顔が近づいていた場合には、そのおそれがあります。）



強制



強制

警告

この装置は、電波障害基準 J 5 5 0 2 2 のクラス A 情報処理装置です。

この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

お知らせ

本製品を用いて、市販映像ソフトや放送・有線放送番組を、営利目的で又は視聴者より料金を受けて公に上映・伝達する行為、フリーズ・リサイズ機能等により改変する行為は、いずれも権利者に無断で行うと当該映像ソフトや放送番組等の著作権や著作隣接権を侵害する恐れがあるため、事前に権利者より使用許諾を受ける等適正な権利処理をしてください。

廃棄について

本製品には、人体や環境に有害とされる下記の物質が含まれています。

- ・プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が含まれています。
- ・ランプには無機水銀が含まれています。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

ご使用になる前に

安全上のご注意	2
本体各部のなまえ	11
リモコン各部のなまえ	14
リモコンに乾電池を入れる	15
リモコンで操作する	16

設置と接続

床置き投写の設置をする	17
設置角度の調節をする	20
天吊り投写について	21
コンピューターと接続する(COMPUTER IN 1 端子)	22
コンピューターと接続する(COMPUTER IN 2 端子)	23
ビデオ機器と接続する	24
コンピューターを使って操作する	26
出力端子の使いかた	27

操作

スクリーンに投写する	28
本機の電源を切る	33
映像を自動調整する	34
台形歪みを補正する	35
映像と音声を一時的に消す	37
投写中の映像を静止させる	38
映像を拡大する	39
PIP 子画面を表示する	40
情報を表示する	41
リモコンでコンピューターを操作する	42

調整・設定

メニュー画面の使いかた	43
フルメニュー画面の使いかた	44

ガイドメニューでの調整・設定	45
フルメニューでの調整・設定 [映像]	46
フルメニューでの調整・設定 [位置]	47
フルメニューでの調整・設定 [色]	48
フルメニューでの調整・設定 [音声]	49
フルメニューでの調整・設定 [表示]	50
フルメニューでの設定 [初期設定]	51
フルメニューでの設定 [初期化]	52
PIP メニューの設定	53

メンテナンス

インジケーターによる異常表示	54
エアフィルターの清掃	55
レンズ、本体の清掃	57
ランプの交換	58

その他

故障かな…と思ったときは	60
COMPUTER IN, MONITOR OUT 端子のピン配列	62
対応可能な信号について	63
RS-232C 端子を使って操作する	65
仕様	71
保証とアフターサービス	73

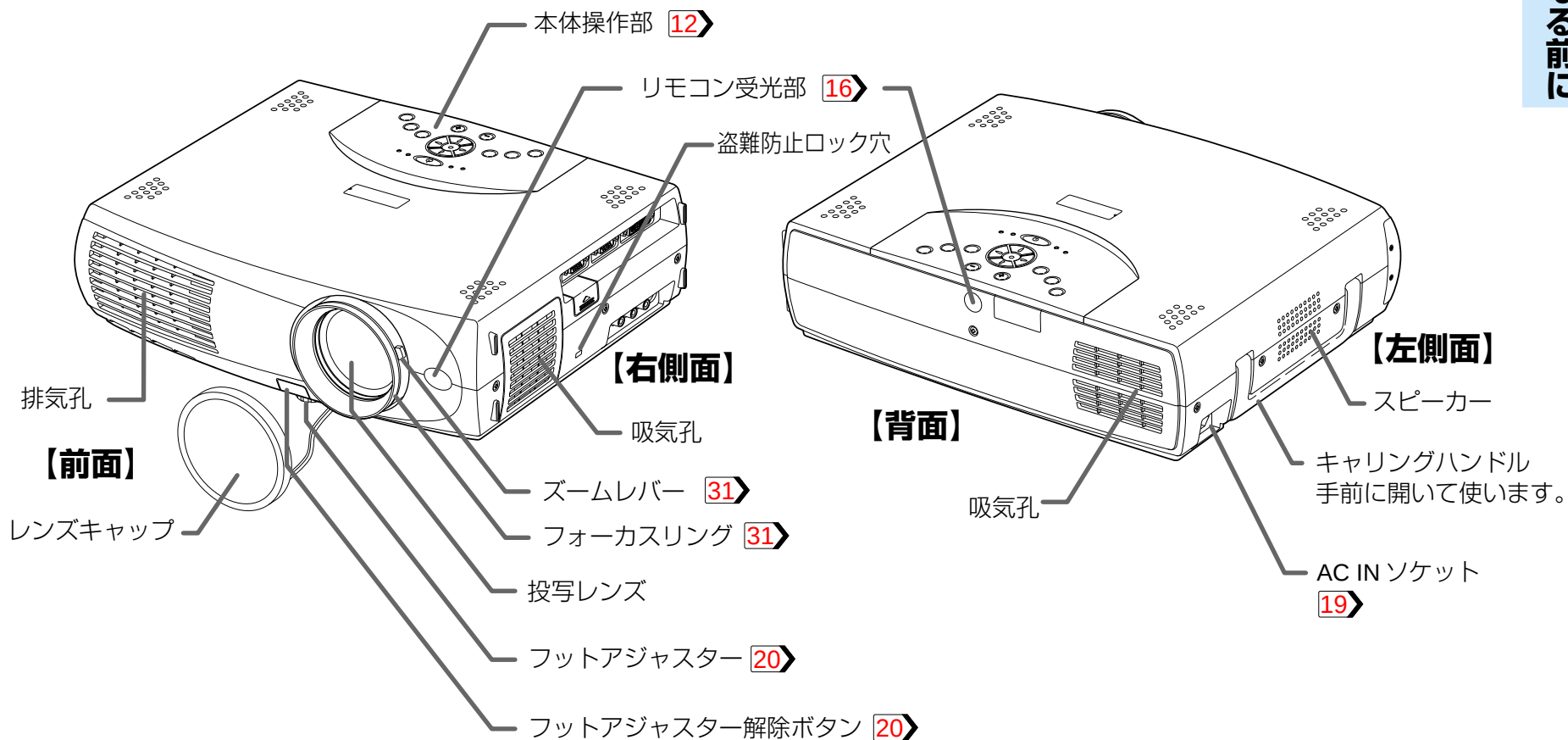
本体各部のなまえ

11

ご使用になる前に

⚠ 注意

吸気孔、排気孔をふさがないこと
内部の発熱により、火災、故障の原因となります。



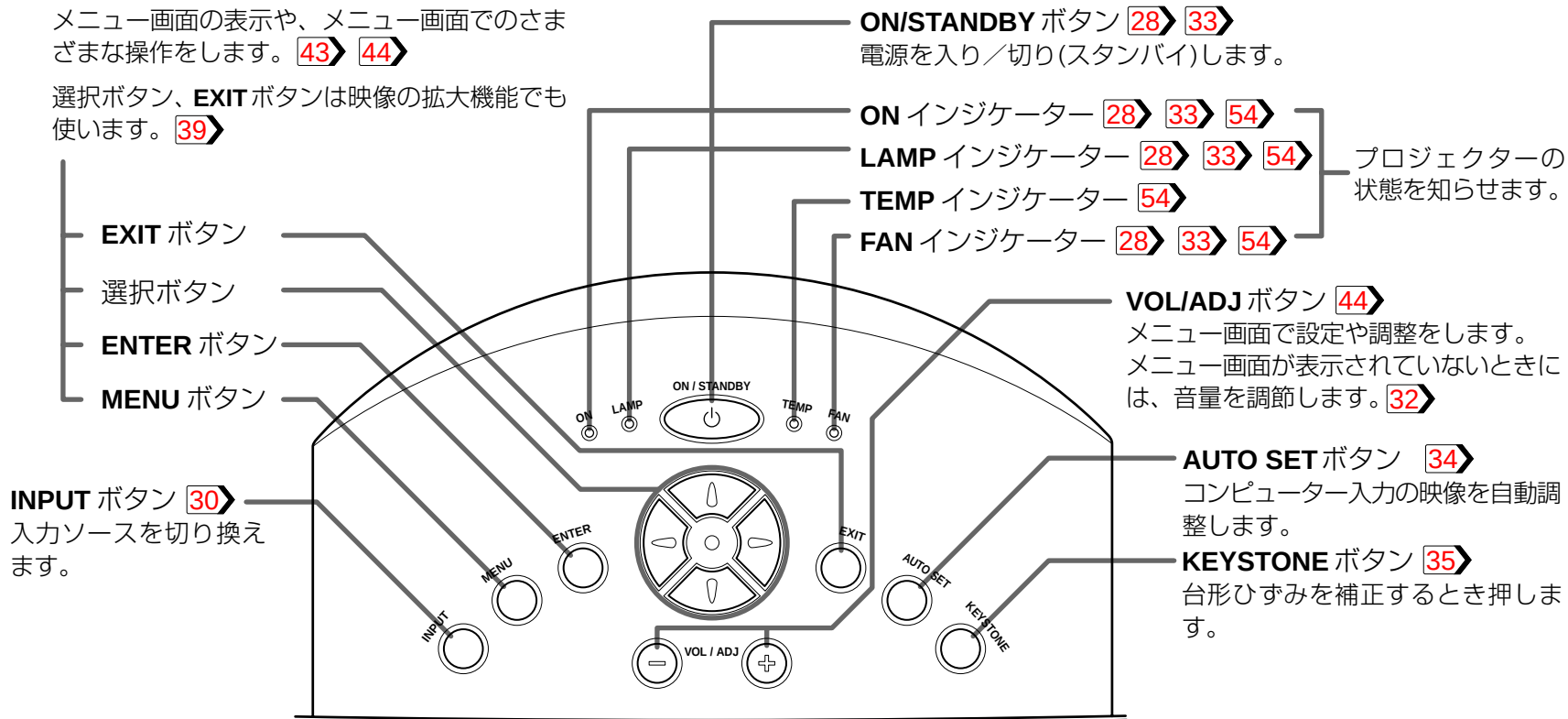
■ お願い

●排気孔から高温の空気が排出されます。近くに物を置くと熱で変形することがありますので、置かないでください。

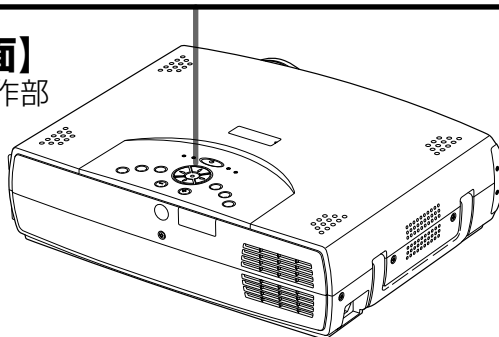
(つづく)

メニュー画面の表示や、メニュー画面でのさまざまな操作をします。[43](#) [44](#)

選択ボタン、EXIT ボタンは映像の拡大機能でも使います。[39](#)



【上面】
本体操作部



本体各部のなまえ (つづき)

13

ご使用になる前に

CONTROL 端子 26 65

(RS-232C 端子)

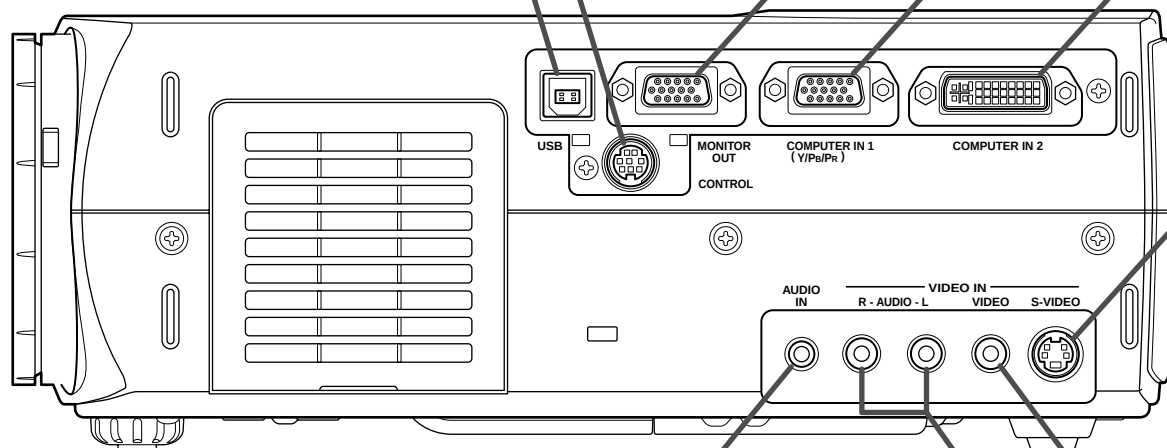
コンピューターを使ってプロジェクターを操作するときに接続します。

使うときは、カバーをはずします。

USB 端子 42

リモコンマウス機能を使うときに、コンピューターのUSB端子に接続します。

【右側面】



MONITOR OUT 端子 27

モニターなどに接続します。

COMPUTER IN 1 端子 22 25

コンピューターなどからのRGB信号か、ビデオ機器からのコンポーネント映像信号(Y/Pb/Pr信号)を入力します。

COMPUTER IN 2 端子 23

コンピューターなどからのRGB信号を入力します。

S-VIDEO 端子 24

ビデオ機器などからのS映像信号を入力します。

VIDEO 端子 24

ビデオ機器などからの映像信号を入力します。

AUDIO (L/R) 端子 24

ビデオ機器などからの音声信号を入力します。

AUDIO IN 端子 (音声入力) 22 25

(φ 3.5mm ステレオミニジャック)

コンピューターか、コンポーネント映像信号出力(Y/Pb/Pr信号出力)付きビデオ機器などからの音声信号を入力します。

お知らせ

- コンポーネント映像信号にはDVDプレーヤーなどのY/Cb/Cr信号も含まれますが、本体やメニューではY/Pb/Prと表記しています。

⚠ 警告

LASERボタンを押している間はレーザー光が放射されていますので、リモコンの前面をのぞき込まないでください。また、人や鏡に向けてレーザー光を放射しないでください。視力障害の原因となります。

【上面】

レーザー発光部

リモコン送信部

INPUT ボタン

入力ソースを切り換えます。

KEYSTONE ボタン

台形ひずみを調整するとき押します。

ポインタコントロールボタン

R-CLICK クリックボタン

L-CLICK クリックボタン

USB マウスとして使います。

PIP ボタン

コンピューター映像の中にビデオか S-ビデオ入力の小さな映像を表示します。

FREEZE ボタン

映像を静止させます。

CALL ボタン

情報を表示します。

ON/STANDBY ボタン

電源を入り/切り(スタンバイ)します。

LASER ボタン

レーザー発光部をスクリーンに向けてボタンを押すと、レーザーポイントを表示します。

AUTO SET ボタン

コンピューター入力の映像を自動調整します。

VOLUME/ADJUST ボタン

メニュー画面で設定や調整をします。

メニュー画面が表示されていないときには、音量の調節に使います。

説明文の中では、**VOL/ADJ**ボタンと記載しています。

選択ボタン

ENTER ボタン

EXIT ボタン

MENU ボタン

メニュー画面の表示や、メニュー画面でのさまざまな操作をします。

選択ボタン、**EXIT** ボタンは映像の拡大機能でも使います。

RESIZE ボタン

映像を拡大表示します。

MUTE ボタン

映像と音声を一時的に消します。

⚠ 注意

- リモコンに使用している乾電池は
 - 単三形アルカリ電池以外の電池は使用しないこと。
 - 極性表示[(+)と(-)]を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと。
 - 表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと。

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

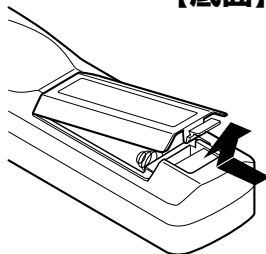
■ 乾電池について

- 長時間使用しないときは、リモコンから取り出してください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい電池と交換してください。
- 液もれしたときは、電池ケースに付いた液をよくふきとってから、新しい乾電池を入れてください。

1

【底面】

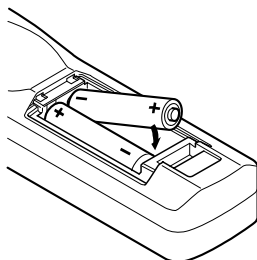
リモコン底面のフタをはずす



2

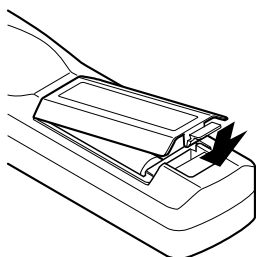
乾電池を入れる

乾電池の+、-を確かめて入れてください。



3

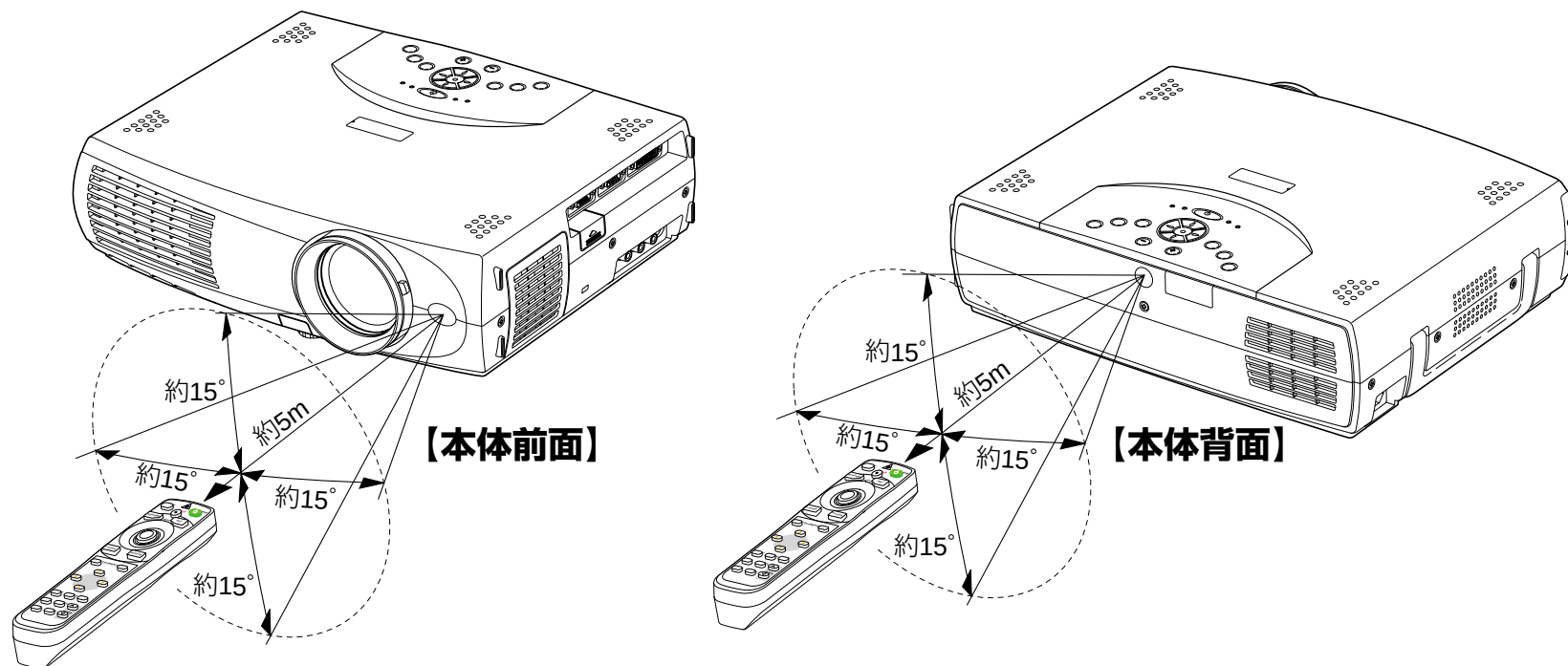
フタを閉める



リモコンで操作する

16

リモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す



ご使用になる前に

■ リモコンについて

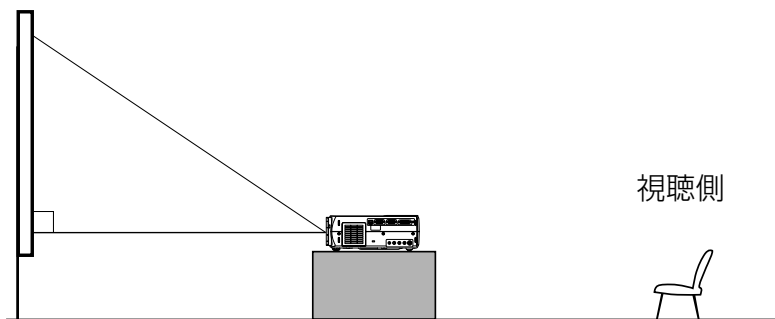
- リモコン受光部に太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃をあたえないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 使用場所や周囲の状況によっては、まれにリモコンが受け付けにくいことがあります。このようなときは、リモコンを本体に向け直し、再度操作をしてください。

床置き投写の設置をする

床置き投写の方法は、2通りあります。投写方法に合わせて「設置状態」の設定をしてください。[51](#)▶
天吊り投写の設置については、[21](#)▶をご覧ください。

床置き正面投写

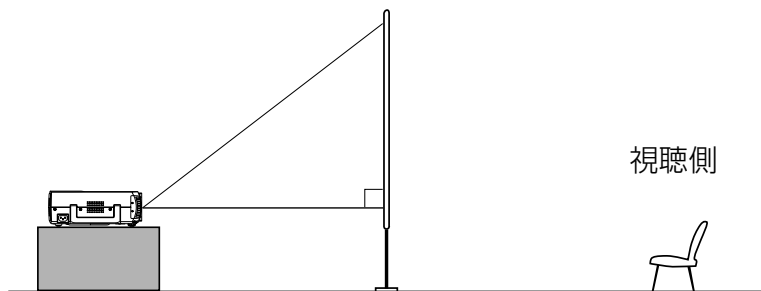
床置きして正面から映像を見る



床置き背面投写

床置きして半透明のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見る

半透過式のスクリーン



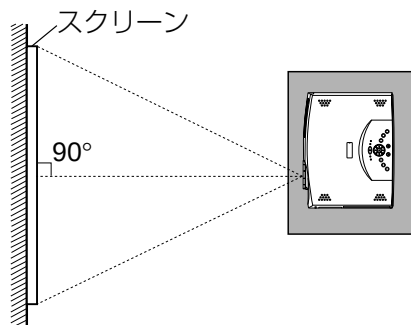
床置き投写の設置をする（つづき）

18

1 本機を、テーブルなど平らな安定したところに置く

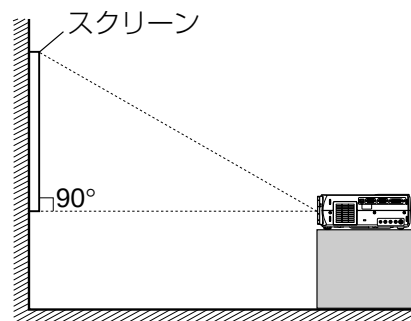
最適な投写画面にするには、本機をスクリーンに対して直角に設置します。

上から見た図



本機のレンズの中心とスクリーンの中心が合うように設置します。

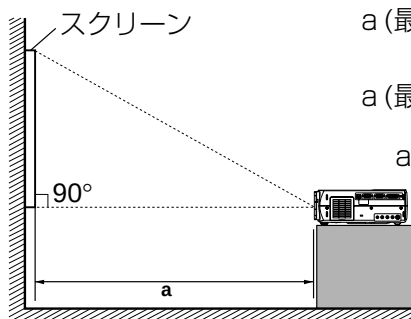
横から見た図



本機とスクリーンが直角になるように、水平な台に設置します。

2 スクリーンに投写する画面の大きさを決める

投写される画面の大きさは、レンズからスクリーンまでの距離で変わります。右の表または下の計算式を参考にして設置し、お好みの画面の大きさにしてください。



$$a \text{ (最短)} = \frac{\text{投写画面サイズ(型)} - 1.6017}{27.041}$$

$$a \text{ (最長)} = \frac{\text{投写画面サイズ(型)} - 1.2699}{21.463}$$

a : レンズからスクリーンまでの距離 (m)

下表はおおよその値です。

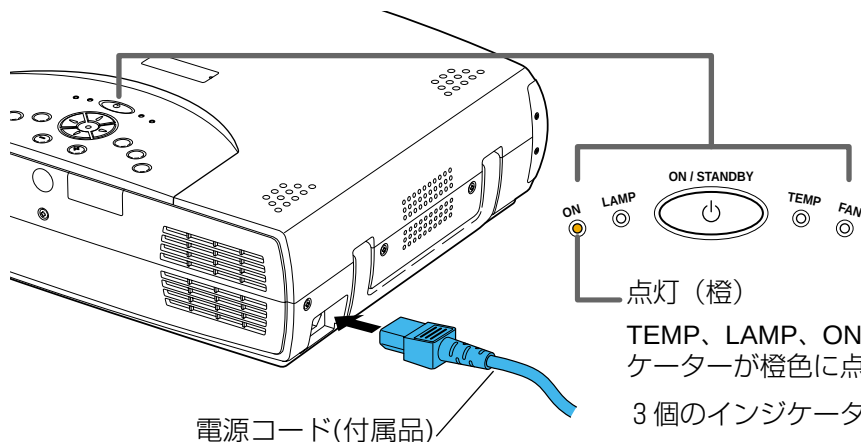
投写される画面の 大きさ(型)(cm)	a(m)	
	最短 (最大ズーム時)	最長 (最小ズーム時)
32 (81)	-	1.42
40 (102)	1.42	1.80
60 (152)	2.16	2.74
80 (203)	2.90	3.67
100 (254)	3.63	4.60
150 (381)	5.48	6.93
200 (508)	7.33	9.26
300 (762)	11.02	-

床置き投写の設置をする (つづき)

19

3 電源コードを接続する

- ・本体のAC INソケットに電源コードのコネクタを差し込みます。
- ・壁などのコンセントに電源コードのプラグを差し込みます。



⚠ 警告

電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。

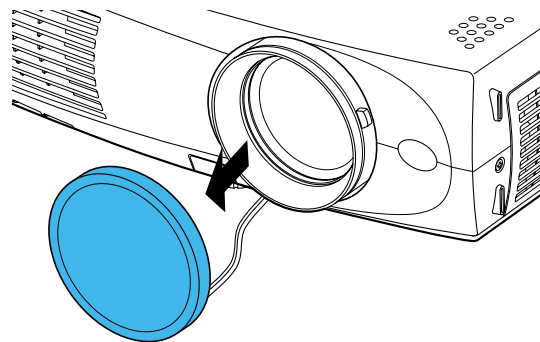
⚠ 注意

- ・電源プラグのアース端子は、必ずアースに接続すること。
- ・アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アース線ははずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。

TEMP、LAMP、ONの3個のインジケータが数秒間緑色に点灯した後、ONインジケータが橙色に点灯し、スタンバイ状態になります。

3個のインジケータが緑色に点灯している状態では、操作をしないでください。

4 レンズキャップをはずす



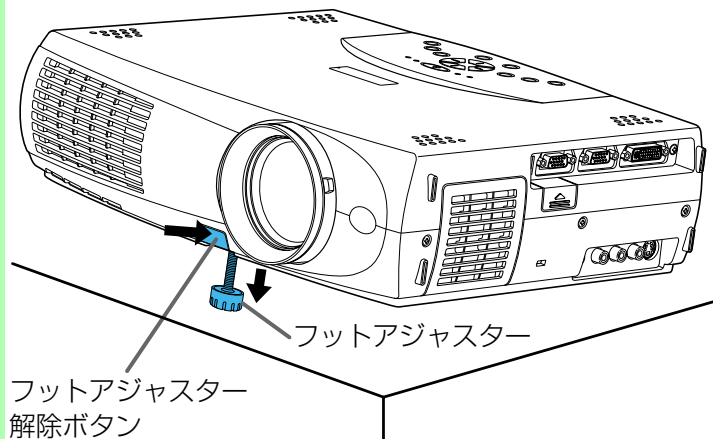
■ お願い

- ・寒い場所から、急に暖かい場所に移動したときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が投写レンズや内部の光学部分に結露して画面がぼけることがあります。周囲の状況で異なりますが、十分室温になじませてから(1～2時間後)ご使用ください。
- ・スクリーンに太陽光や照明光が直接当たると、画面が白っぽくなり見にくくなります。カーテンなどで遮光してください。
- ・スクリーンと本体を正しく設置してください。正しく設置されていないと、投写画面が歪み、見にくくなります。

設置角度の調整をする

フットアジャスターで、本体の設置角度を変えて投写位置を調整できます。

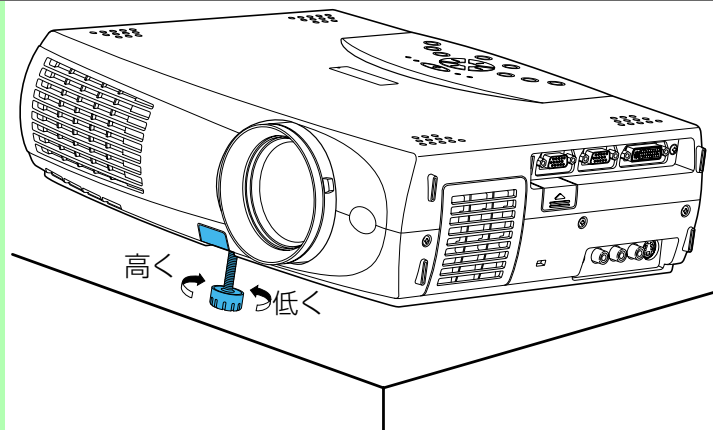
1



好みの角度になるようにプロジェクター本体の前部を持ち上げ、フットアジャスター解除ボタンを押す

フットアジャスターがのびます。
ボタンを離すとフットアジャスターが固定されます。

2



高さを微調整するときは、フットアジャスターを回す
時計方向に回すと高くなり、反時計方向に回すと低くなります。

■お願い

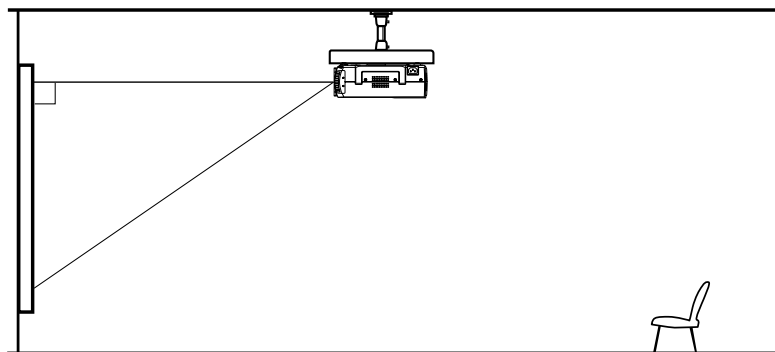
- フットアジャスターを収納するときは、フットアジャスター解除ボタンを押しながらゆっくり本体を降ろしてください。
- フットアジャスター解除ボタンを押すときは、指の上に本体を落とさないように、必ず本体を支えながら行ってください。
- ランプの寿命に影響を与えるため、フットアジャスターで調整できる範囲以上に本機を傾けないでください。

⚠ 警告

天吊り設置は必ず販売店に依頼してください。(専用の天井取付金具が必要となります。)
詳しくは、天井取付金具に付属している説明書もあわせてご覧ください。

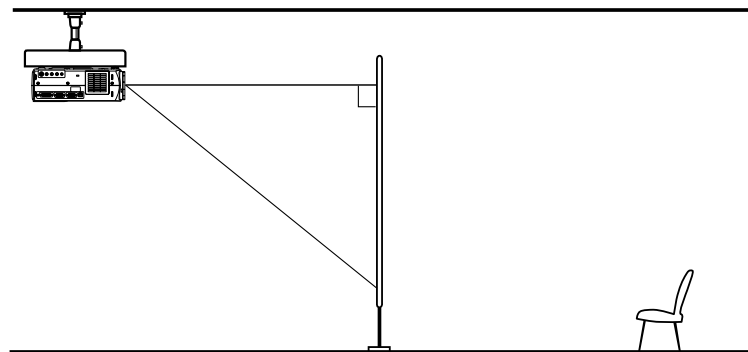
天吊り正面投写

天吊りして正面から映像を見る



天吊り背面投写

天吊りして半透明のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見る



半透過性のスクリーン

投写方法に合わせてメニュー画面で「設置状態」の設定をしてください。 **51**

■ お知らせ

- 投写される画面の大きさとスクリーンまでの距離の関係は、床置き設置の場合 **18** と同じです。

アナログ RGB(1)入力と Y/P_B/P_R 入力とで兼用です。ご購入時は、アナログ RGB(1)入力として使用するように設定されています。

RGB 入力(アナログ RGB(1)/ アナログ RGB(2)/ デジタル RGB)の音声と Y/PB/PR 入力の音声とで兼用です。

Macintoshコンピューター
の場合
Mac用アダプタ(付属品)

コンピューター

COMPUTER IN 1端子へ
端子の向きを確認してから
接続してください。

RGB ケーブル
(付属品)

AUDIO IN端子へ

音声ケーブル(付属品)

千二ターポ一トへ

φ 3.5mm ステレオミニジャック
音声出力ポートへ

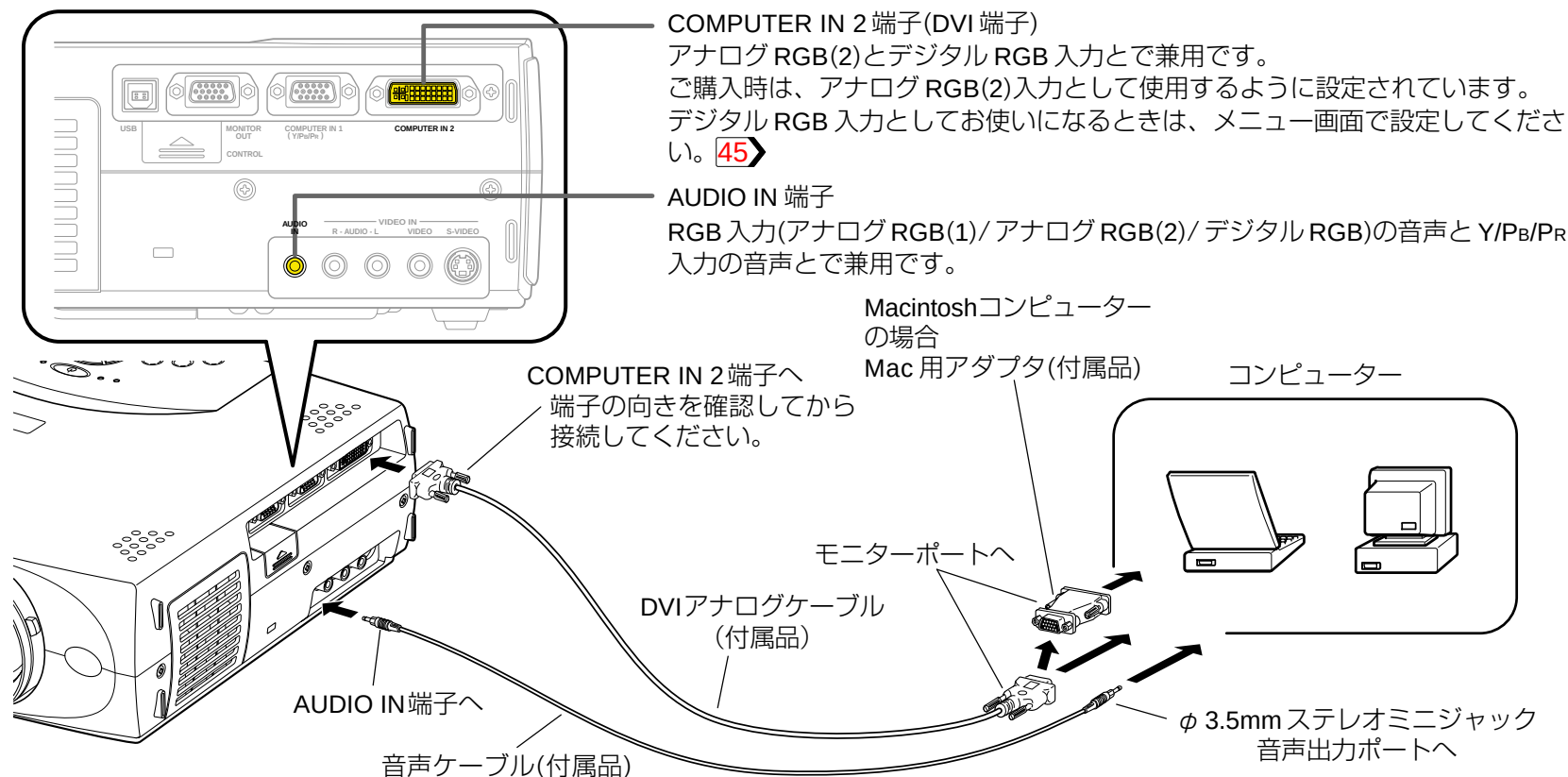
- アナログ RGB 端子のないコンピュータは接続できません。詳しくは、コンピュータの説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターの機種によっては接続できないことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。
- Macintosh コンピューターと接続するときは、付属の Mac 用アダプター(Multiple Scan 21 対応)をご使用ください。なお、機種によってはアダプターが不要場合があります。
- コンピューターの機種によっては、本機で対応できない出力モードをもっているものがあります。端子形状、信号レベル、タイミング、解像度などの適合性を確認してください。

(つづく)

コンピューターと接続する (COMPUTER IN 2 端子)

23

COMPUTER IN 2 端子には、コンピューターからのアナログ RGB 信号またはデジタル RGB 信号を入力して映像を投写できます。本機とコンピューターの電源が切れていることを確認してから接続してください。

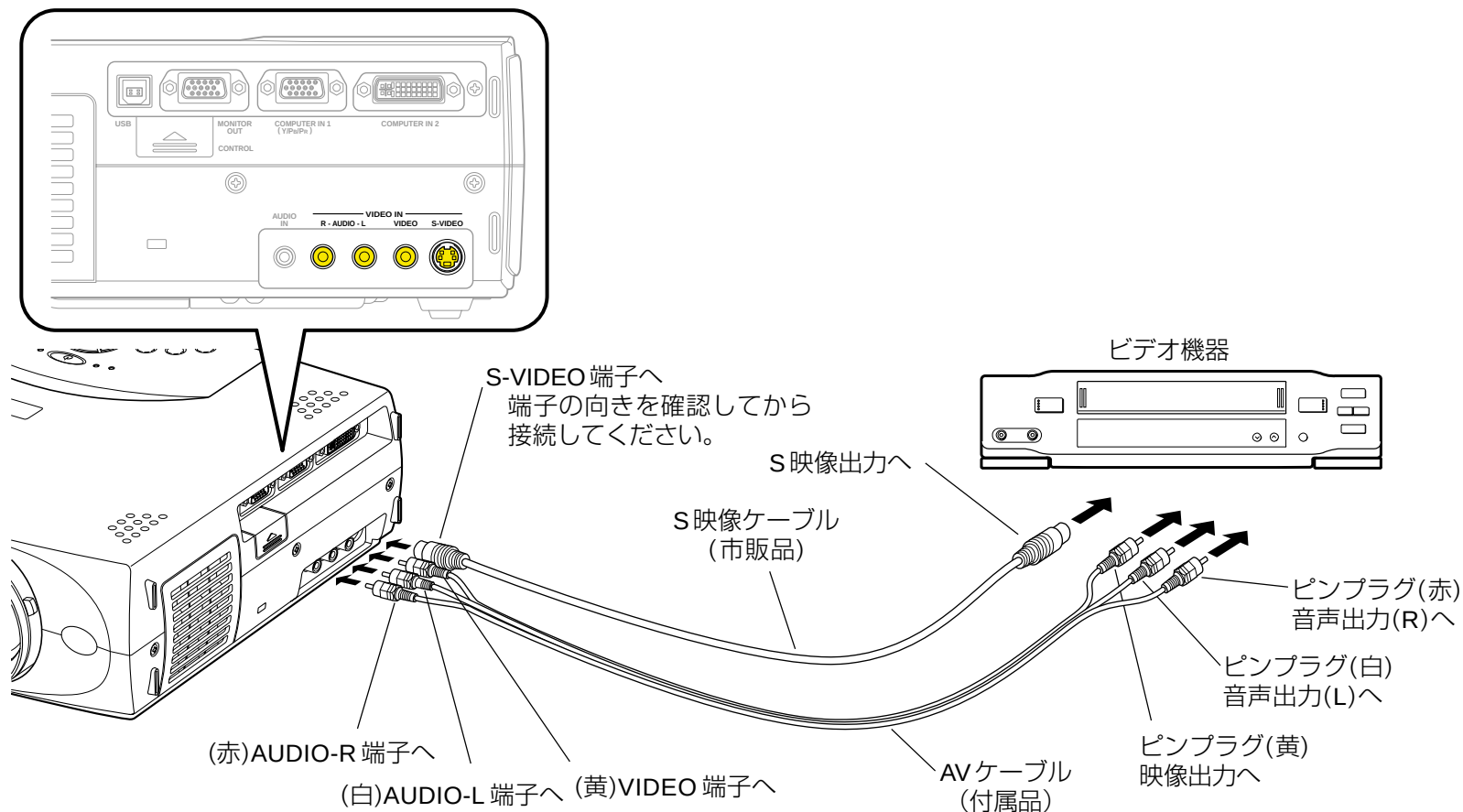


■ お知らせ (22 ページの「お知らせ」もあわせてお読みください。)

- デジタル RGB 信号を入力する場合は、別売の接続ケーブルをお買い求めください。
- デジタル RGB 信号を入力してご使用の場合、コンピューターの機種や接続ケーブルによっては、まれに画面上にノイズが発生することがあります。そのような場合には、コンピューター信号のリフレッシュレートまたは解像度を下げてください。また、接続ケーブルは 2 m 以下のものをご使用になることをお勧めします。
- 本機の DVI 端子の入力信号仕様は DVI 1.0 仕様に準拠しています(但しコンテンツプロテクトには対応していません)。この仕様で規定されない機能については動作を保証しませんので、あらかじめご了承ください。

(つづく)

VIDEO IN の各端子を使って、ビデオ機器からの映像を投写できます。
本機とビデオ機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。



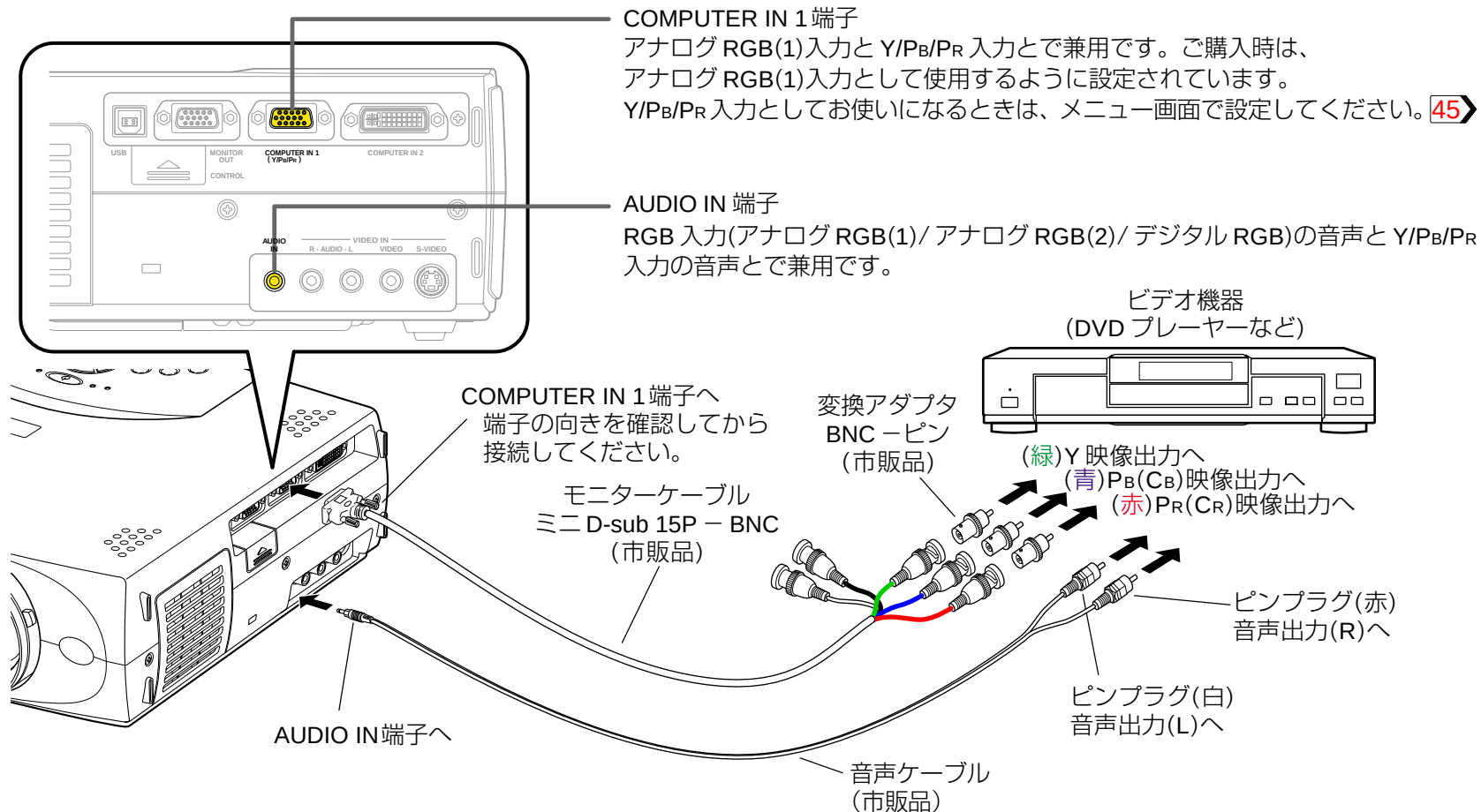
お知らせ

- S-VIDEO 端子と VIDEO 端子は、それぞれ独立してご使用になれます。ただし、音声入力端子は S-VIDEO と VIDEO とで共通です。
- S-VIDEO 端子の映像の投写には、ガイドメニュー **45** により、S-VIDEO の設定をオンにする必要があります。

(つづく)

ビデオ機器と接続する (つづき)

コンポーネント映像出力端子付きビデオ機器からの映像を投写できます。
本機とビデオ機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。

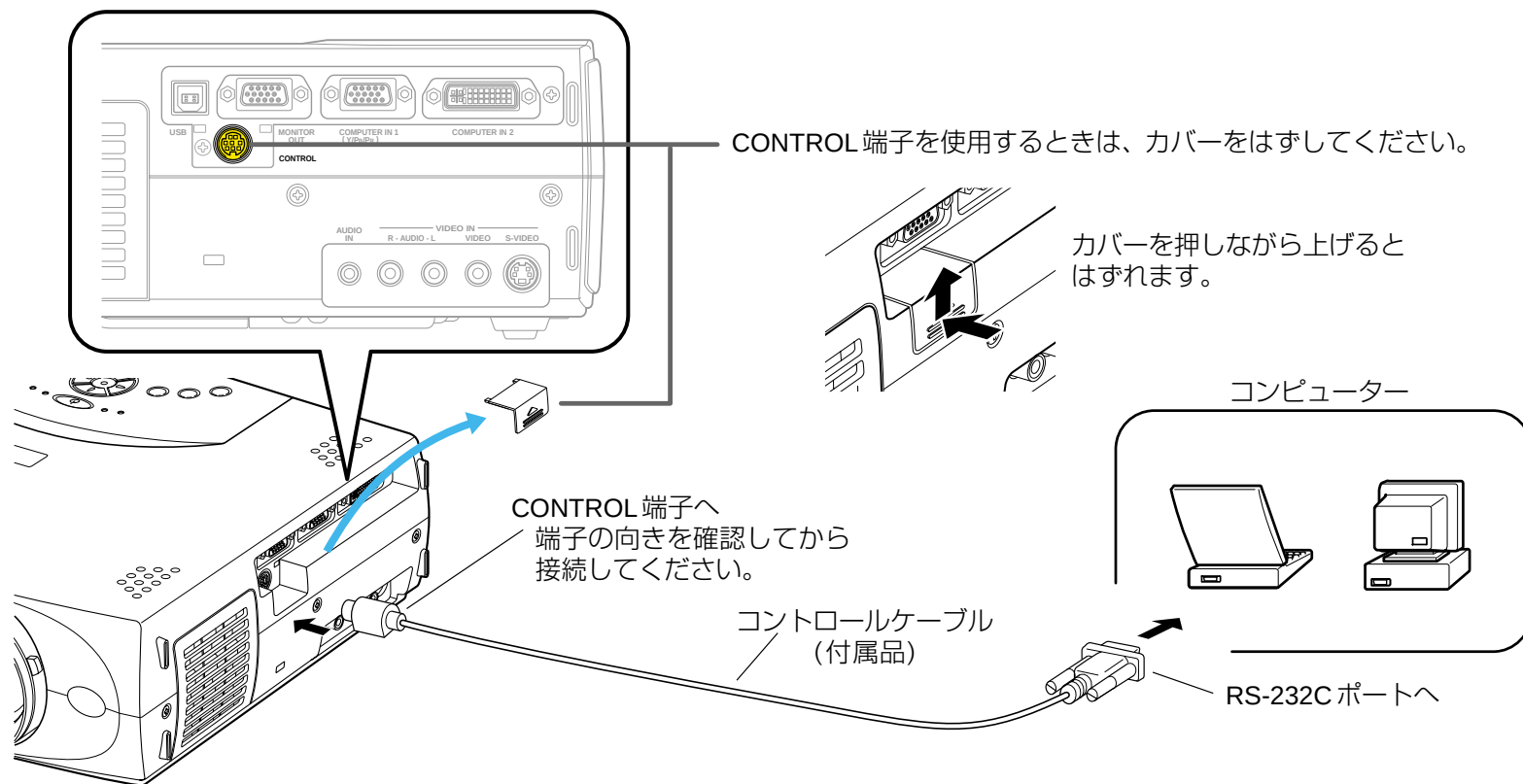


お知らせ

- コンポーネント映像信号には DVD プレーヤーなどの Y/Cb/Cr 信号も含まれますが、本体やメニューでは Y/Pb/Pr と表示しています。

コンピューターを使って操作する

付属の専用コントロールケーブルで本機にコンピューターに接続して操作できます。**65**
本機および接続するコンピューターの電源が切れていることを確認してから接続してください。

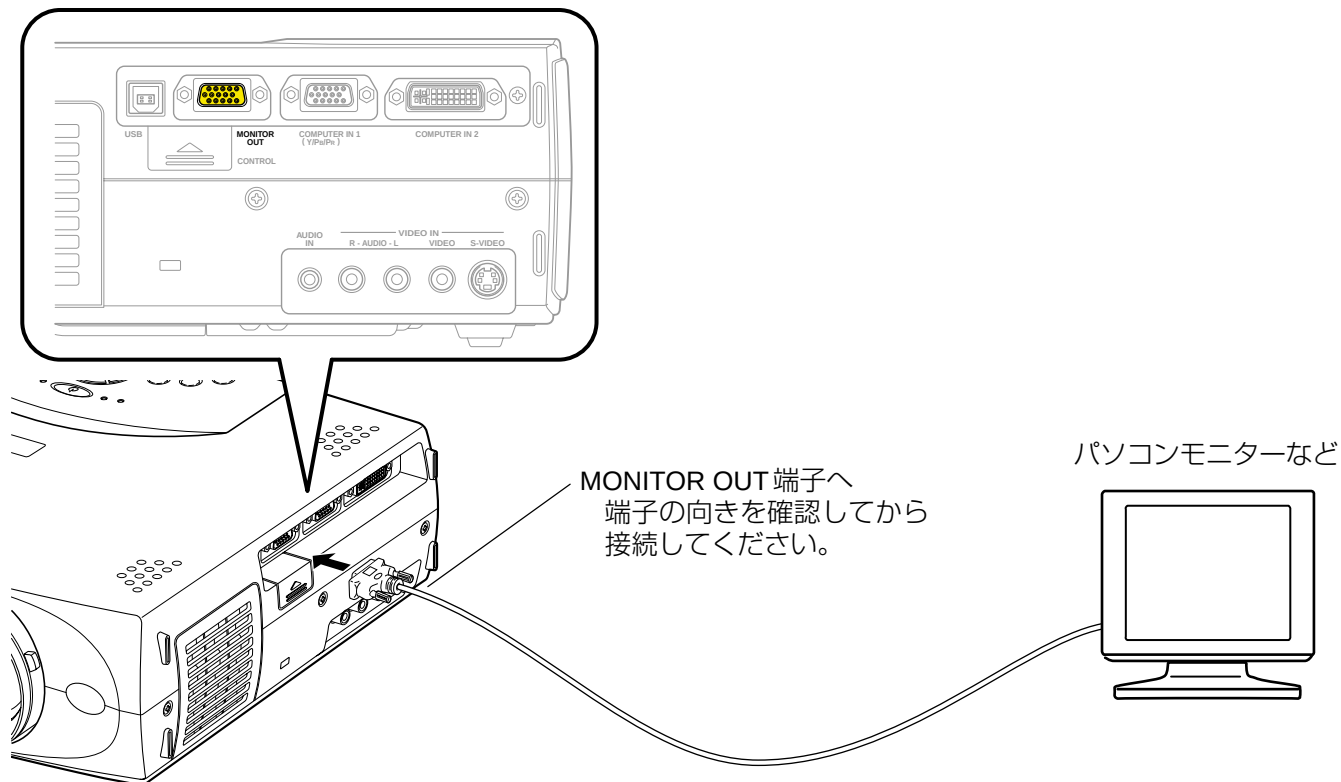


■お願い

- 付属の専用ケーブル以外を接続しないでください。

出力端子の使いかた

本機に入力されているアナログ RGB 信号をパソコンモニターなどに出力することができます。
本機および接続する機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。



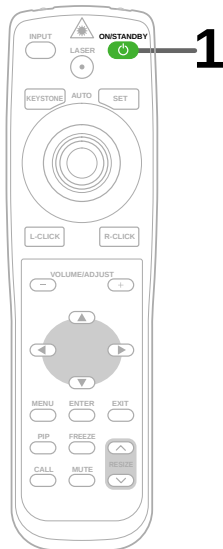
■ お知らせ

- MONITOR OUT 端子には、入力切換で選択された COMPUTER IN 1 端子または COMPUTER IN 2 端子のアナログ RGB 信号、または Y/Pb/Pr 信号が出力されます。これらの入力ソースが選択されていないときは、COMPUTER IN 1 端子に入力されている信号が出力されます。(デジタル RGB 信号は出力されません。)
- スタンバイ状態でも MONITOR OUT 端子から信号が出力されています。
- 一般的にパソコンモニターで Y/Pb/Pr 信号は正常に受像できません。

警告

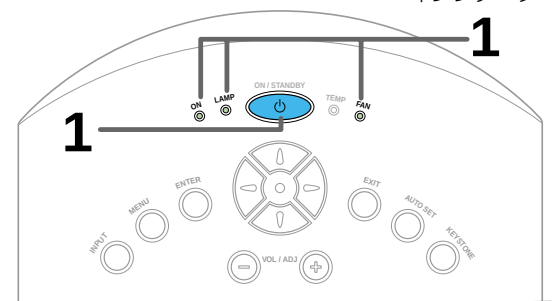
動作中は投写レンズをのぞき込まないこと。

リモコン



本体操作部

インジケーター



準備

- 1 本機の設置、機器との接続を正しく行ってください。
- 2 レンズキャップをはずしてください。

1

ON/STANDBY

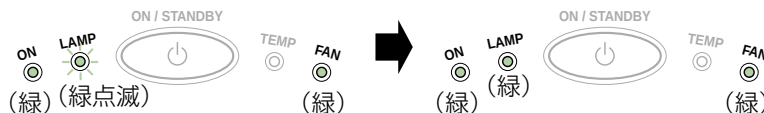


ON/STANDBY

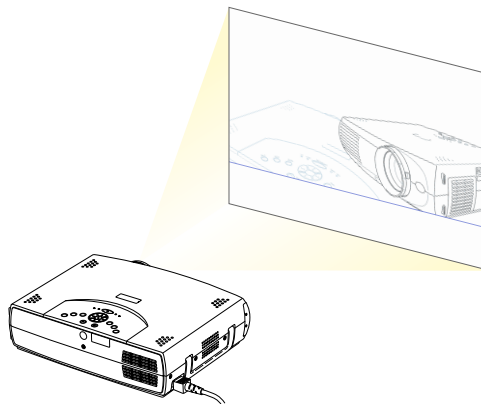


ON/STANDBY ボタンを押す

本機の電源が入り、ON インジケーターと LAMP インジケーターおよび FAN インジケーターが緑色に点灯します。
(ランプをウォームアップする間は LAMP インジケーターが点滅します。)



ランプが点灯し、スタート画面が投写されます。

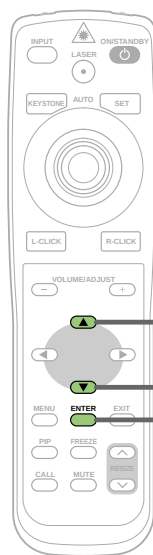


お知らせ

- スタート画面は、しばらく待つか **EXIT** ボタンを押すと消えます。また、メニュー画面で表示されないように設定することもできます。[51]
- ご購入後はじめてご使用になるときは、スタート画面が消えると言語設定メニューが表示されます。次のページの手順 2, 3 にしたがって設定します。

操作

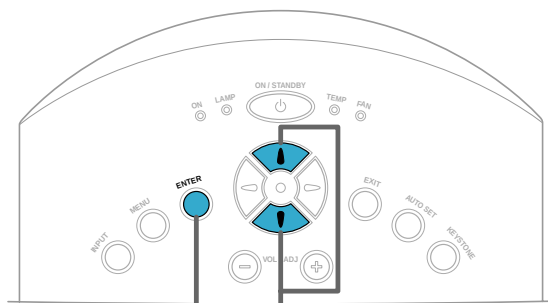
リモコン



2

2,3

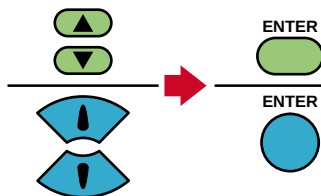
本体操作部



2,3 2

はじめてご使用になるときは、メニューやメッセージなどの表示に使用する言語を設定するメニューが表示されます。ご使用になりたい言語に設定します。（ご購入時は、英語に設定されています。）

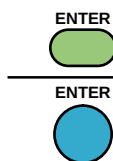
2



選択ボタン(▲/▼)で希望の言語を選び、ENTER ボタンを押す

設定の結果を確認するメニューが、選択した言語で表示されます。

3



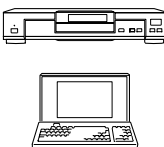
ENTER ボタンを押す

選択しなおすときは、EXIT ボタンを押して戻ります。

お知らせ

- 次回以降は電源を入れたときに言語設定メニューが表示されなくなります。ただし、「すべてを初期化」[52](#)を実行した場合には、その次に電源を入れたときに言語設定メニューが表示されます。
- 「言語」はメニュー画面でも設定することができます。[50](#)
- この取扱説明書は、日本語が選択された状態を想定して記載しています。

4

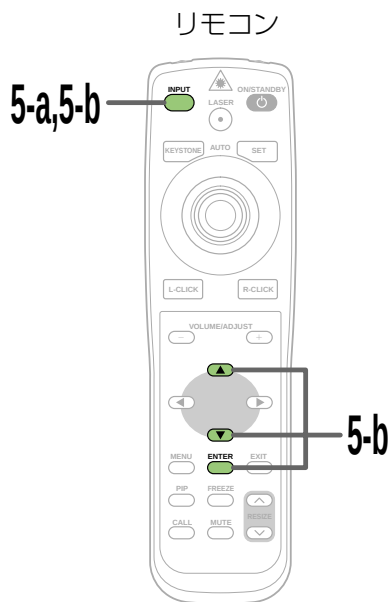


投写したい機器の電源を入れて再生状態にする

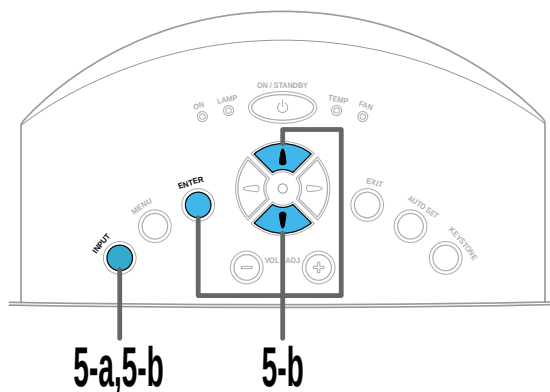
コンピューターを接続したときに、コンピューター画面に追加ウィザードのダイアログボックスが表示されたときは、キャンセルを選ぶか、付属のCD-ROMからドライバをインストールしてください。（付属のCD-ROMにドライバ情報ファイルELMO_EDP.infが収録されています。ダイアログボックスの参照ボタンをクリックし、このファイルを検索して指定してください。）

操
作

（つづく）

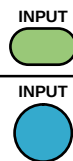


本体操作部



投写する入力ソースを選択します。手順5-aと5-bの2種類の方法がありますので、お好みの方法で選択してください。

5-a



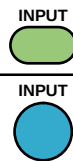
INPUTボタンを繰り返し押して希望の入力を選ぶ

ご購入時は、COMPUTER IN 1 端子に接続された「アナログ RGB(1)」か、VIDEO 端子に接続された「ビデオ」が選択できます。
選択された入力ソースの名称とアイコンが画面の左上に表示され、しばらくすると消えます。

お知らせ

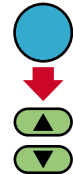
• INPUTボタンで選択できる入力ソースをメニュー画面で設定することができます。[45](#)

5-b



INPUT ボタンを2秒間押し続ける

入力選択メニューが表示されます。



選択ボタン(▲/▼)で希望の入力を選ぶ

ここでは、メニュー画面での入力設定の内容に関係なく、すべての入力が表示され、選択できます。



ENTER ボタンを押す

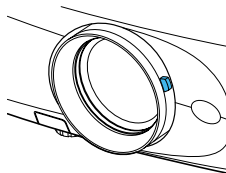
選択した入力ソースの映像が投写されます。
音声信号ソースも接続している場合は、スピーカーから音声が出ます。

■ お知らせ

（コンピューターからの信号について）

- 液晶ディスプレイを用いたコンピューターの機種によっては、コンピューター側のモニター表示とプロジェクターへの出力とを同時に行うと、画面が正しく投写されない場合があります。このような場合には、コンピューターの液晶ディスプレイの表示を切ってください。液晶ディスプレイ表示の切り換え方法などは、コンピューターの取扱説明書、および使用しているコンピューターソフトの説明書を参照してください。
- 本機は、XGA 信号(1024 × 768)を画面いっぱいに投写します。
- XGA 信号以外のコンピューターの映像は拡大・縮小表示されますので、画質が多少劣化します。接続するコンピューターの外部モニターの設定をXGA(1024 × 768)にすることをおすすめします。
- 本機は DDC2B(Display Data Channel 2B)に対応しています。お使いのコンピューターが DDCに対応している場合は、本機の電源を入れてからコンピューターを起動してください。順番を逆にすると、コンピューターから信号が出力されないことがあります。

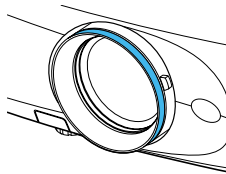
6



ズームレバーで画面の大きさを調節する

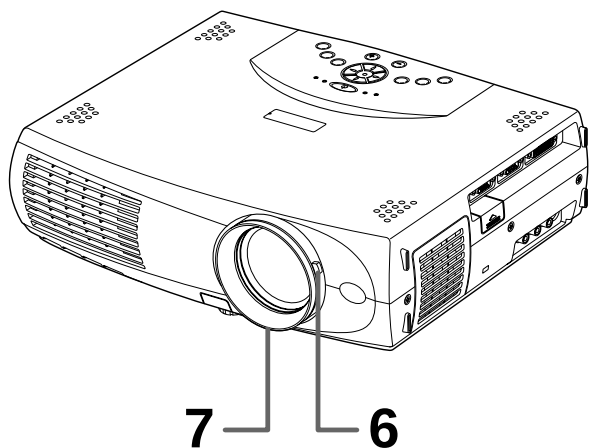
右へ回すと画面が大きくなります。
左へ回すと画面が小さくなります。

7

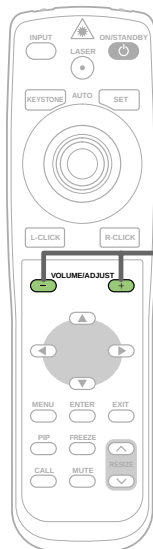


フォーカスリングでピントを合わせる

静止画で合わせることをおすすめします。

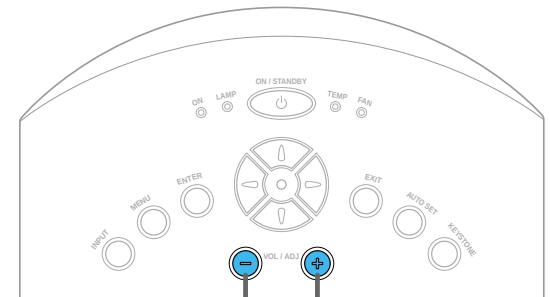


リモコン



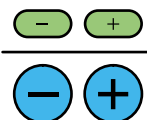
8

本体操作部



8

8



VOL/ADJ(+/-)ボタンで音量を調節する

(+)ボタンを押すと、音量が大きくなります。

(-)ボタンを押すと、音量が小さくなります。

お願い

- 上下の投写角度を変えたい場合は、フットアジャスターを使って調整してください。[20](#)
- 画面が台形に歪む場合は、**KEYSTONE** ボタンを押してから調整します。[35](#)

お知らせ

- ランプの特性上、まれに画面がちらつくことがあります。故障ではありません。
- ランプはまれに破裂することがあり、この際には大きな破裂音を伴うことがあります。
- 本機に使用している液晶パネルは非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯などの表示不良が存在する場合があります。これは、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 実行できない操作ボタンを押すと、アイコン  が表示されます。
- 周囲の温度が高すぎるときや、エアフィルターにほこりがたまったときなどには本機が動作を停止することがあります。[54](#)
- 本機が対応していない信号が入力されると、アイコン  が表示されます。
- 入力ソースから信号が入力されていないとき、アイコン **OFF** が表示されます。

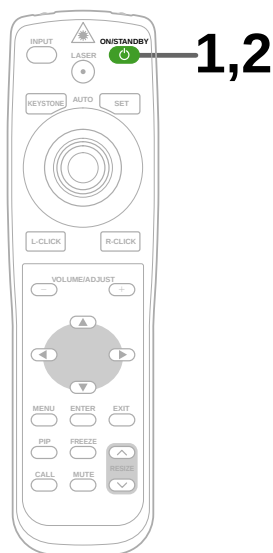
液晶パネルの寿命について

液晶パネルには寿命があります。

長くご使用いただくために以下の点にご注意ください。

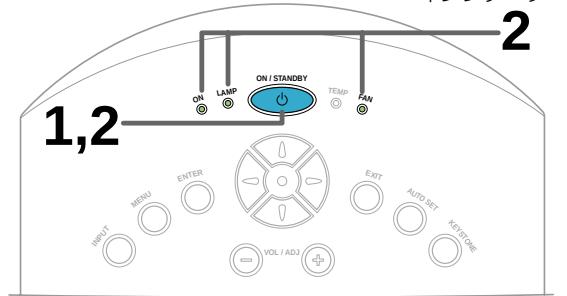
- 液晶パネルの寿命をのばすために、使用していないときは必ず電源を切り、ランプが消えていることを確認してください。ランプが消えていると省エネ効果も大きくなります。
- エアフィルターが汚れて目詰まりすると、本体内部の温度が高くなり液晶パネルの寿命を短くするとともに、故障の原因になります。
エアフィルターをときどき清掃し [55](#)、さらに定期的に交換してください。交換はランプ交換と同時をおすすめいたします。「交換用のエアフィルターは、お買い上げの販売店へお申し付けください。」

リモコン



本体操作部

インジケーター



1

ON/STANDBY



ON/STANDBY



本機使用後に、ON/STANDBY ボタンを押す

電源を切るためのメッセージが画面に表示されます。このメッセージは、しばらくすると消えます。消えた場合は操作が無効になります。

2

ON/STANDBY

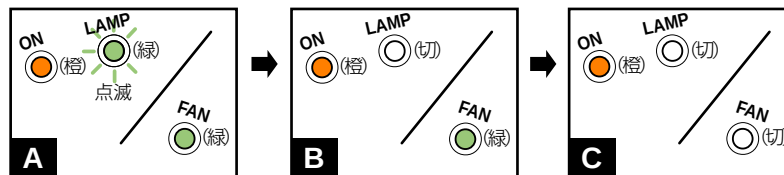


ON/STANDBY



もう一度 ON/STANDBY ボタンを押す

冷却が始まります。冷却が終了すると、LAMPインジケーターとFANインジケーターが消灯し、スタンバイ状態になります。(ONインジケーターは橙色になります。)



- A** 光源ランプを保護するために最低限冷却が必要な間はLAMPインジケーターが点滅します。この状態では再び電源を入れることができません。また、この状態のときに電源コードを抜くとランプの寿命が短くなります。
- B** さらに内部の余熱を逃がすためにしばらく冷却ファンが回り続けます。お急ぎのときは、この途中で電源プラグを抜いても差し支えありません。
- C** スタンバイ状態です。

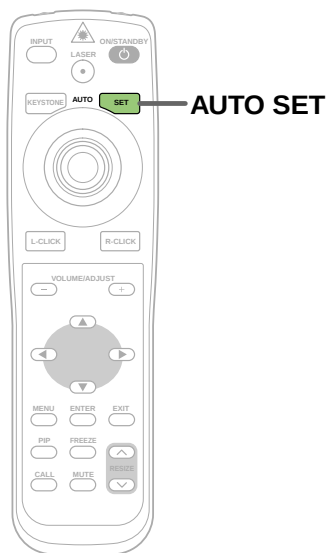
お知らせ

- 本機はスタンバイ状態で約20Wの電力を消費します。長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜くことをおすすめします。

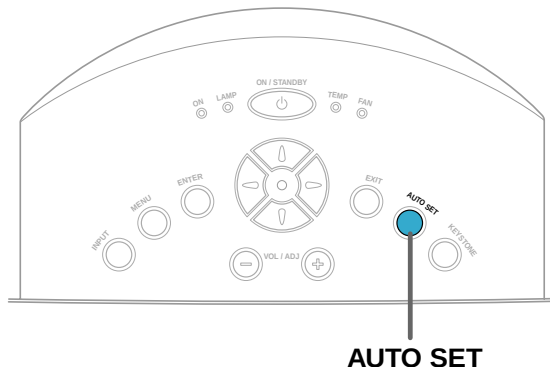
お願い

- 電源プラグは、LAMPインジケーターが消灯しているのを確認してから抜いてください。本機の動作中や、光源ランプの冷却中に電源プラグを抜いて電源を切ると、ランプの寿命が短くなります。**但し、本機が操作不能などの異常の場合には電源プラグを抜いてください。**
- ランプが冷却される前に抜いた電源プラグを再度差し込むときは、ランプが十分に冷えるのを待ってください。ランプが高温になっていると、点灯しないことがあり、寿命が短くなります。

リモコン



本体操作部



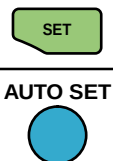
アナログ RGB 信号の映像を投写したときの水平位置、垂直位置、サンプリング位相、サンプリング周波数を、ワンタッチ操作で最適状態に調整できます。

1

入力ソース(コンピューター)からフル画面の映像信号を入力して投写する

画面の一部しか表示されていない映像や、極端に暗い映像では正しく調整されないことがあります。

2



AUTO SET ボタンを押す

水平位置、垂直位置、サンプリング位相、サンプリング周波数が自動的に調整されます。

信号処理をしている間、アイコン  が表示されます。

■ お知らせ

- 本機が対応しているコンピューター信号以外では、正しい自動調整ができないことがあります。
- 水平位置、垂直位置、サンプリング位相、サンプリング周波数は、メニュー画面で調整することもできます。[47](#)

※サンプリング周波数とは

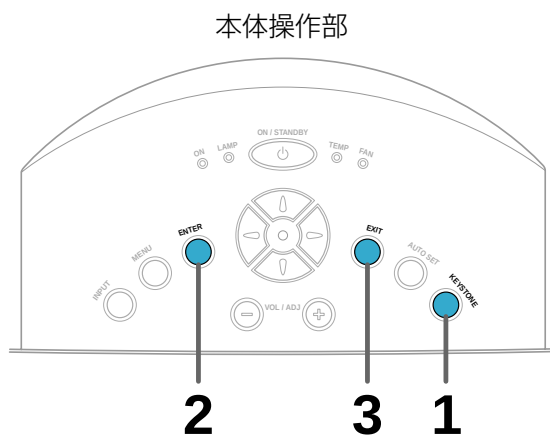
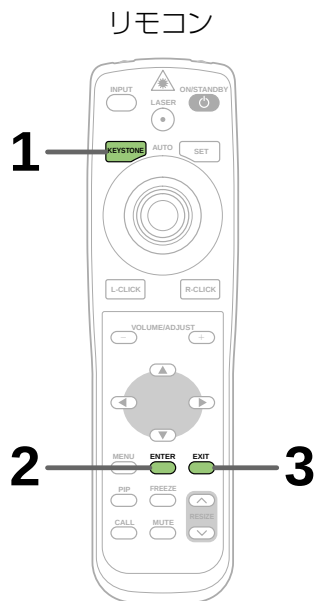
コンピューターから入力されたアナログRGB信号は、本機の内部でデジタル信号に変換されます。このとき、デジタル信号に変換される1秒間あたりの回数がサンプリング周波数です。コンピューター信号のひとつひとつのドットをすべてとらえる(サンプリングする)ために、サンプリング周波数とコンピューターのドットクロック周波数が一致するように調整する必要があります。この調整がずれていると、映像の細かい部分がぼやけたり、縦線をたくさん表示したときに縞模様が出たり、画面の幅が変わったりします。なお、本機が対応しているRGB信号では、**AUTO SET** ボタンを押さなくてもサンプリング周波数だけは自動調整されます。

※サンプリング位相とは

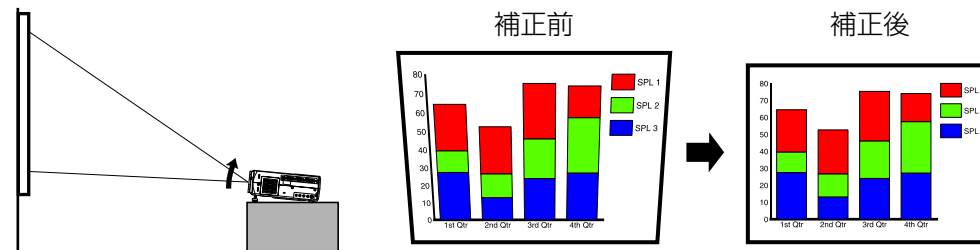
コンピューターのアナログRGB信号をサンプリングするタイミングをサンプリング位相と言います。サンプリング位相が合っていないと、ひとつひとつのドットを正しいタイミングでサンプリングできないため、映像がぼやけたり、ちらつきを生じたりします。

台形歪みを補正する

35



フットアジャスターを使って設置角度を変えて、スクリーンよりも下側から投写すると、投写画面の上側が広くなり画面が歪むため、これを補正します。



1

KEYSTONE

KEYSTONE



KEYSTONE ボタンを押す

台形補正メニューが表示され、「自動垂直台形補正」が選択された状態になっています。

(このメニューは、ガイドメニュー **45** で「画面の台形歪みを補正する。」を選択したときに表示されるサブメニューと同じです。)

2

ENTER

ENTER



ENTER ボタンを押す

投写画面の垂直台形歪みが自動補正されます。

処理をしている間、画面の左上にアイコン  が表示されます。

処理が終了すると、マニュアル調整による「垂直台形補正」か「水平台形補正」を選択するメニューが表示され、「垂直台形補正」が選択された状態になっています。

3

EXIT

EXIT



台形歪みを確認する

さらに調整をする必要がなければ、メニューが消えるまで **EXIT** ボタンを繰り返し押します。

台形歪みが正しく補正されていない場合は、次の手順に進みます。

(つづく)

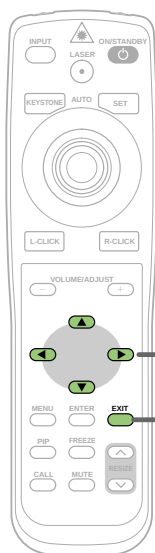
操
作

台形歪みを補正する（つづき）

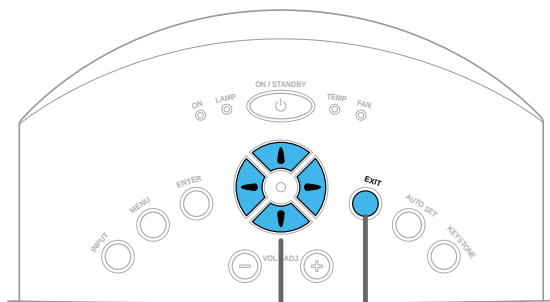
36

操
作

リモコン



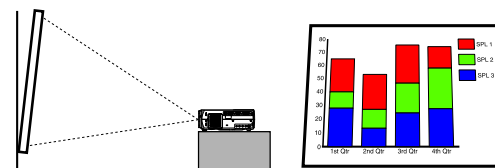
本体操作部



4,5 6

4

スクリーンが垂直に設置されていない場合には、垂直台形歪みが正しく自動補正されません。

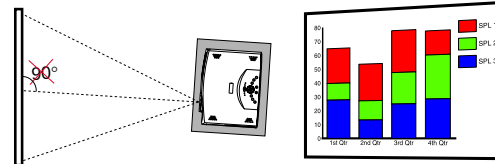


メニューで「垂直台形補正」が選択されていることを確認してから、**選択ボタン(◀/▶)**で左右の台形歪みを調整する

5

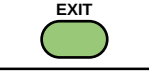


上から見て本機がスクリーンに対して90°に設置されていない場合には、投写画面の上下が歪みます。



選択ボタン(▲/▼)でメニューの「水平台形補正」を選択してから、**選択ボタン(◀/▶)**で上下の台形歪みを調整する

6

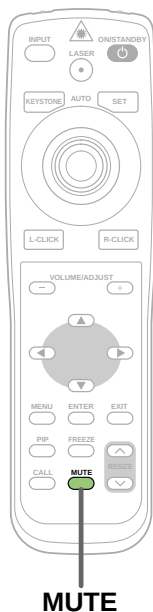


メニューが消えるまで、繰り返しEXITボタンを押す
台形補正の終了です。

■お知らせ

- デジタル補正処理のため、台形補正のどあいや信号ソースの内容によっては一部情報が欠けたり、画質が劣化する場合があります。
- 垂直台形補正と水平台形補正の補正可能範囲は、互いの補正量および入力信号の種類 **[63]** の影響を受けます。このため、入力を切り換えたときに補正量が変わることがあります。
- スクリーンが垂直に設置されているのに「自動垂直台形補正」が正しく動作しない場合は、「水平基準値リセット」 **[52]** を実行してください。

リモコン



スクリーンに他のプロジェクターやOHPなどの映像を一時的に投写したいようなとき、本機の映像と音声を消すことができます。



MUTE ボタンを押す

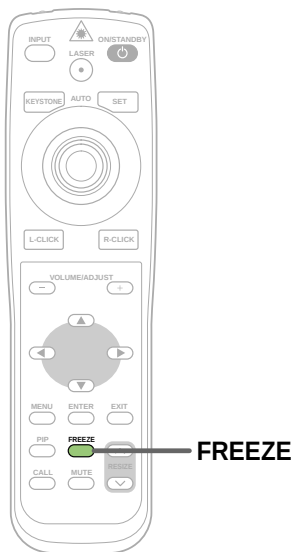
映像と音声が一時的に消えます。
もう一度 **MUTE** ボタンを押すとミュートが解除され、映像と音声が出力されます。

ミュート中はアイコン  が表示されます。

■ お知らせ

- ミュート中に他の操作をすると、ミュートが解除されます。

リモコン



投写中の映像を静止させることができます。
ビデオで撮影した映像を止めてプレゼンテーションしたいときなどにお使いいただけます。



FREEZE ボタンを押す

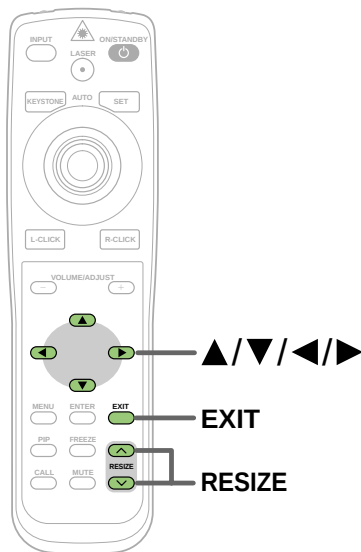
投写中の映像が静止します。
もう一度 **FREEZE** ボタンを押すと、静止を解除します。

映像が静止している間、アイコン  が画面の左上に表示されます。

■ お知らせ

- 静止させた映像をリサイズ機能 [39](#)により拡大表示させることができます。その他の操作をすると、静止画は解除されます。
- 無入力状態(信号ソースからの信号供給がない状態)では動作しません。
- 本機で映像を静止させても、入力ソースの映像は変化しています。

リモコン



リサイズ中はアイコン  が画面の左上に表示されます。

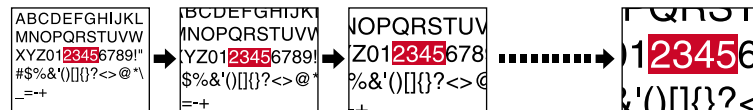
投写している映像を拡大（リサイズ）表示できます。

RESIZE



RESIZE(↑)ボタンを押す

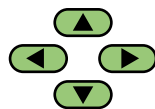
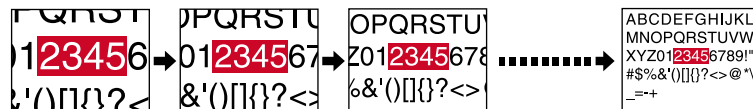
RESIZE(↑)ボタンを押すたびに拡大倍率が上がります。ボタンを押し続けることもできます。



RESIZE



拡大倍率を下げる時には RESIZE(↓)ボタンを押します。ボタンを押し続けることもできます。



選択ボタン(↑/↓/←/→)を押すと拡大部分が移動します。ボタンを押し続けることもできます。



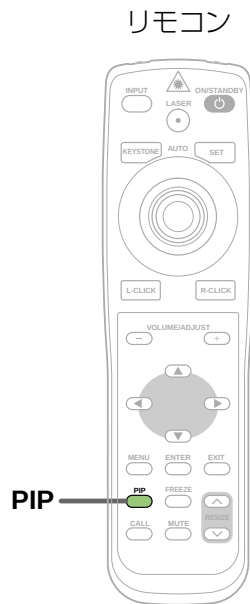
EXIT



EXITボタンを押すとリサイズが解除されて、もとのサイズに戻ります。

お知らせ

- 拡大した映像を**FREEZE**ボタンで静止させることができます。静止させた状態で拡大や縮小(拡大倍率を下げる)、拡大部分の移動をすることもできます。
- フリーズ(静止画) **[38]**以外の操作をしたとき、リサイズは解除されます。
- 電気式のデジタルリサイジングのため、拡大するにつれて映像が劣化します。
- 拡大部分を移動中、まれに画面が乱れることがあります。
- 無入力状態(信号ソースからの信号供給がない状態)では動作しません。



コンピューターの映像の中に、ビデオまたはS-ビデオの映像を小さな映像(本取扱説明書では子画面と記載しています)で表示できます。



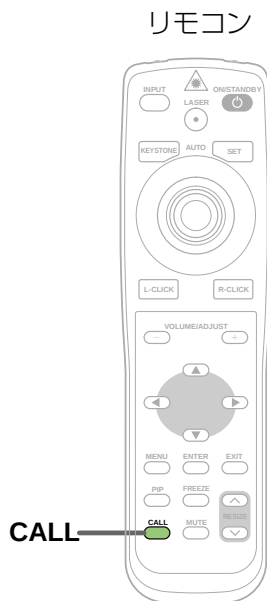
PIP ボタンを押す

子画面が表示されます。

もう一度 **PIP** ボタンを押すと、子画面が消えます。

■ お知らせ

- コンピューター入力以外が選択されているとき、PIP 機能はご使用になれません。
- コンピューターからの信号供給がない状態では PIP 機能をご使用になれません。
- 他の操作をすると、子画面が消えます。
- 子画面を表示するときの子画面の信号ソース、サイズ、表示位置、および音声入力ソースをメニュー画面で変更することができます。 **53**



入力信号ソースなどの情報を表示できます。



CALL ボタンを押す

下記の情報が表示されます。
もう一度 **CALL** ボタンを押すと、表示が消えます。

状態表示

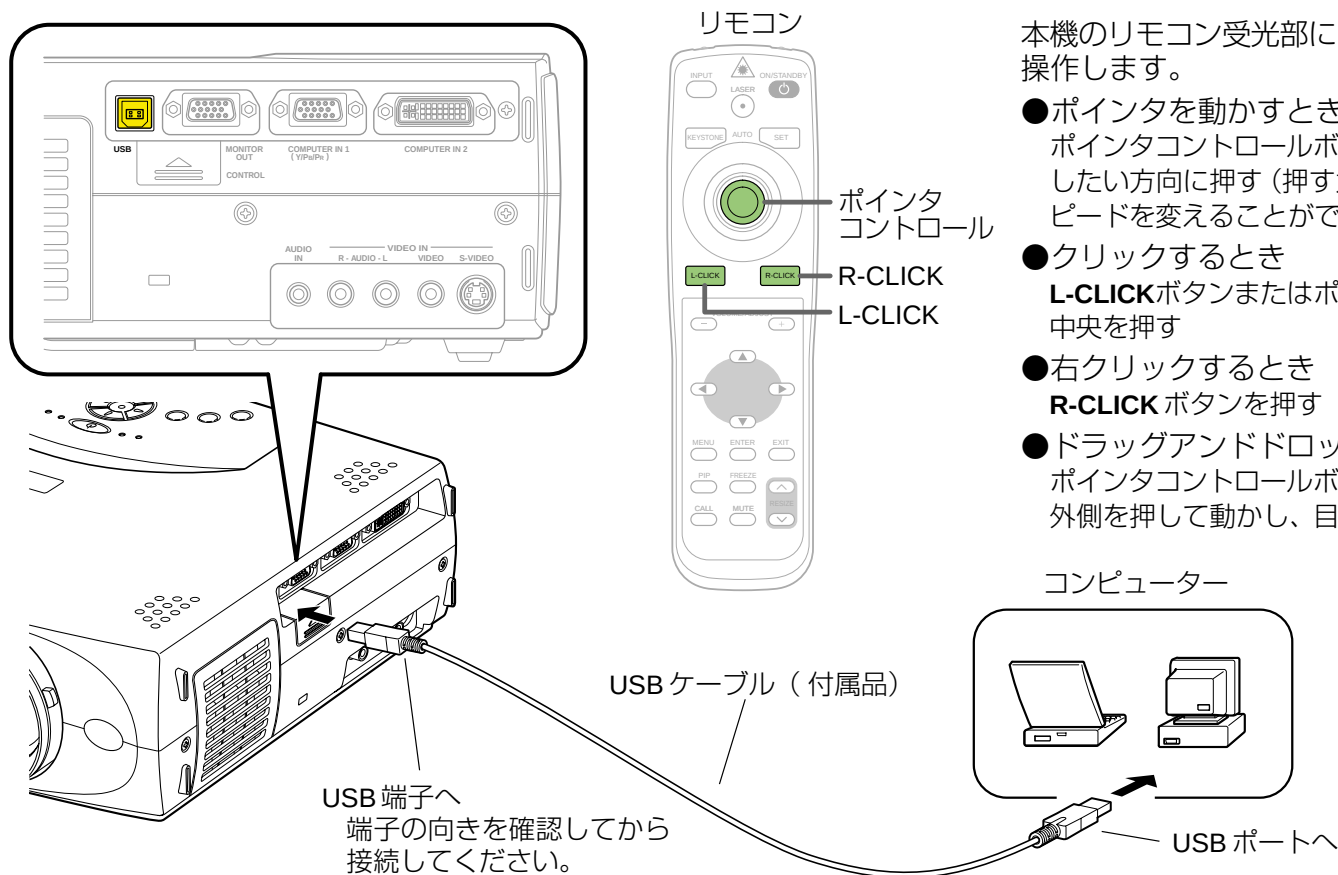
入力	—現在の入力ソース
水平解像度	—入力信号の水平解像度（RGB 入力時）
垂直解像度	—入力信号の垂直解像度（RGB 入力時）
水平周波数	—入力信号の水平周波数（RGB 入力時）
垂直周波数	—入力信号の垂直周波数（RGB 入力時）
同期	—同期信号の極性
ビデオモード	—ビデオ信号のカラー方式（ビデオ、S-ビデオ入力時）
信号フォーマット	—Y/Pb/Pr 信号のフォーマット（Y/Pb/Pr 入力時）
ランプ時間	—光源ランプの使用時間
バージョン	—ファームウェアのバージョン

お知らせ

- 表示された情報は、状況が変わっても更新されません。更新するときには、表示された情報をいったん消してから、もう一度表示させてください。
- 情報表示中に他の操作をすると、表示された情報は消えます。
- [ランプ時間]はランプ交換時期の目安として表示しています(ランプ保証時間のカウンターとしてはご使用になれません)。表示される時間が 1000H(1000 時間)に近づいたら、交換用ランプ EDPL70(別売品)の準備について販売店にご相談ください。
- [ランプ時間]は、ランプ交換の際にリセットすることができます。
- [バージョン]は本機内部の制御プログラムのバージョンであり、アフターサービスなどの際に参照します。

リモコンでコンピューターを操作する

付属のUSBケーブルで本機とコンピューターを接続することにより、リモコンでコンピューターを操作できます。本取扱説明書では、この機能を「マウスリモコン」と記載しています。



本機のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを操作します。

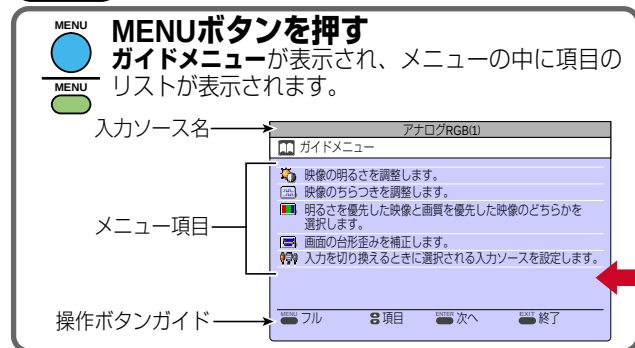
- ポインタを動かすとき
ポインタコントロールボタンの外側をポインタを動かしたい方向に押す（押す力によってポインタが動くスピードを変えることができます。）
- クリックするとき
L-CLICKボタンまたはポインタコントロールボタンの中央を押す
- 右クリックするとき
R-CLICKボタンを押す
- ドラッグアンドドロップをするとき
ポインタコントロールボタンの中央部を押さえたまま外側を押して動かし、目的の場所で中央部を離す

お知らせ

- この機能は、USBポートを標準装備したWindows 98/98SE、Windows Me、Windows 2000、MacOS9の各O.Sに対応します。
- コンピューターのUSBポートに初めて接続するとき、デバイスドライバのインストール状況によってコンピューターのモニター画面に「Windows 98」または「Windows 98SE」のCD-ROMを挿入するようメッセージが出る場合があります。メッセージにしたがってください。
- 付属品以外のUSBケーブルをご使用になるときは、シールドタイプのケーブルをご使用ください。

メニュー画面でさまざまな調整や設定をすることができます。ここでは、メニュー画面の基本的な操作方法を説明します。

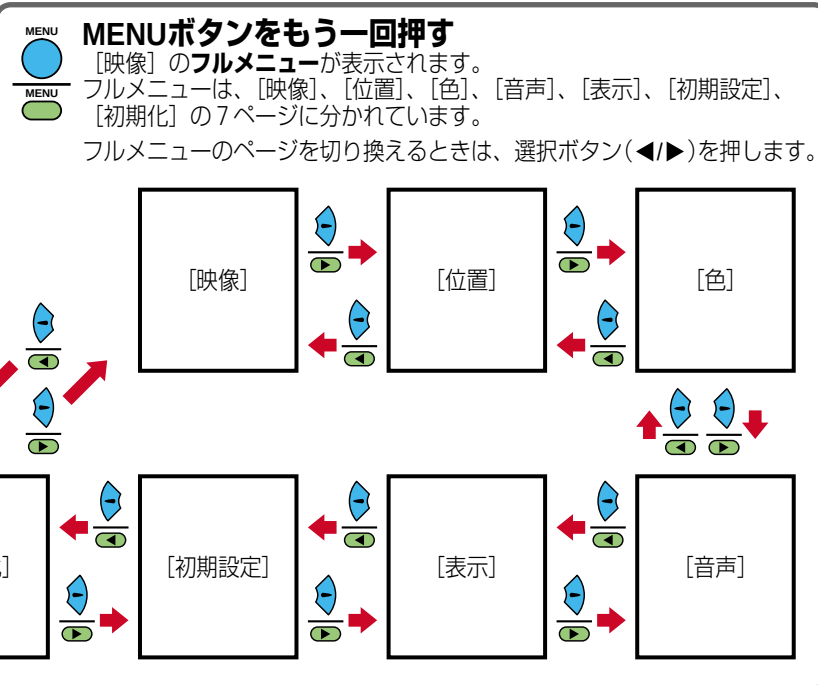
はじめ ガイドメニュー：よく使う機能の調整・設定をします



さらに詳細な調整や設定をするときは

MENUボタンを押すと、ガイドメニューに戻ります

フルメニュー：操作については、次のページをご覧ください。 **44**



選択ボタン(▲/▼)で項目を選ぶ

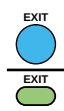


ENTERボタンで項目を確定する

選択された項目を調整・設定できる状態になります。

操作ボタンガイドに表示されるボタンで調整や設定をする

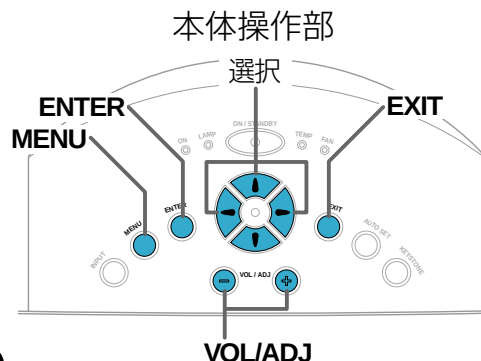
選択された項目に応じて、操作ボタンガイドに[調整]、[設定]、[実行]の種類と、使用するボタンが表示されます。



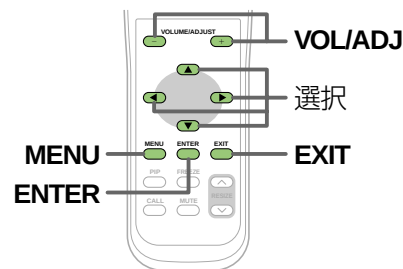
EXITボタンを押して戻る

他の項目を選択するときは、ガイドメニューが表示されるまで繰り返しEXITボタンを押します。終了するときは、ガイドメニューが消えるまで繰り返しEXITボタンを押します。

おわり



リモコン



フルメニュー画面の使いかた

44

はじめ フルメニューの出しかたと種類の切換方法は、
前のページをご覧ください。

43

選択ボタン(▲/▼)で項目を選ぶ
(図の状態は説明用であり、実在しません)



ボタンガイドに[実行]が表示される項目の場合は

ENTERボタンを押す
選択した項目が実行されます。実行後フルメニューに戻ります。

調整バーが表示される項目の場合は

選択肢が表示される項目の場合は

方法-1

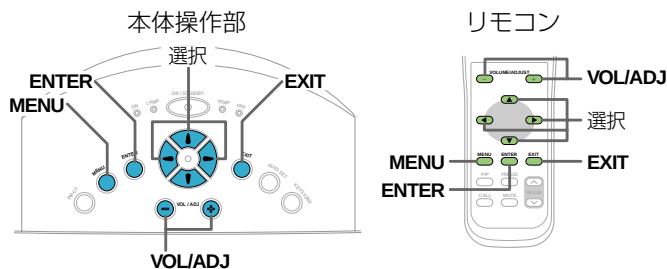
方法-2

ENTERボタンを押す
設定候補の中から希望の設定内容を選ぶ状態になります。

操作ボタンガイドに表示されるボタンで設定をする

EXITボタンを押す
他の項目を選択できる状態に戻ります。

EXITボタンを押す
フルメニューが消えて、調整・設定の終了です。

おわり

VOL/ADJボタンで調整する
引き続き他の項目を選択するときは、
選択ボタン(▲/▼)を押します。

**VOL/ADJボタンか
選択ボタン(◀/▶)で調整する**

調整・設定

お知らせ

• PIP機能の子画面の設定をするときには、専用のメニューが表示されます。53

ガイドメニューでの調整・設定

ガイドメニューでは、よく使う機能の調整や設定ができます。
ガイドメニューの出しかたや操作のしかたについては、**43**をご覧ください。

映像の明るさを調整します	コントラスト	調整	映像のコントラスト(濃淡)を調整		○	○	○	○	○	○	
	明るさ	調整	映像の明るさを調整(暗い部分に注目して調整)								
映像のちらつきを調整します	サンプリング位相	調整	映像のちらつきを調整		○	○	－	－	－	－	
映像の色を調整します	色の濃さ	調整	映像の色の濃さを調整		－	－	－	○	○	○	
明るさを優先した映像と画質を優先した映像のどちらかを選択します	明るさ優先	設定	画面の明るさを優先したモードに設定		○	○	○	－	－	－	
	画質優先	設定	画面の色味を優先したモードに設定								
画面の台形歪みを補正します	自動垂直台形補正	実行	垂直台形歪みを自動補正		○ 全入力共通						
	手動調整へ	実行	垂直台形補正	調整							垂直台形歪みを調整
			水平台形補正	調整							水平台形歪みを調整
入力を切り換えるときに選択される入力ソースを設定します [ENTER] : ENTERでオン/オフ [◀]、[▶] : (◀)でオン/オフ	COMPUTER IN 1	設定	[ENTER] : COMPUTER IN 1 端子をINPUTボタンで選択可能		○ 全入力共通						
	アナログRGB(1)	設定	[▶] : COMPUTER IN 1 端子をアナログRGB(1)入力として使用								
	Y/Pb/Pr	設定	[▶] : COMPUTER IN 1 端子をY/Pb/Pr入力として使用								
	COMPUTER IN 2	設定	[ENTER] : COMPUTER IN 2 端子をINPUTボタンで選択可能								
	アナログRGB(2)	設定	[▶] : COMPUTER IN 2 端子をアナログRGB(2)入力として使用								
	デジタルRGB	設定	[▶] : COMPUTER IN 2 端子をデジタルRGB入力として使用								
	VIDEO	設定	[ENTER] : ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能								
	S-VIDEO	設定	[ENTER] : S-ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能								

お知らせ

- 『サンプリング位相』は、入力されるRGB信号の種類**63**ごとに調整状態が記憶されます。
- 『台形補正』と『入力ソースの選択』はすべての入力ソースで調整・設定できますが、結果は全入力に共通に作用します。
- 入力ソースをひとつも選択しないでメニューを終了することはできません。
- 現在の入力ソースのチェックをオフにした場合は、次回の入力切替から有効になります。
- 調整や設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定 [映像]

フルメニュー [映像] では、映像のさまざまな調整や設定ができます。
メニューの出しかたや操作のしかたについては、**[43]** **[44]** をご覧ください。

				入力ソースと項目の関係 ○：調整・設定できます -：表示されません					
				アナログRGB(1)	アナログRGB(2)	デジタルRGB	Y/Pb/Pr	ビデオ	S-ビデオ
コントラスト	調整	映像のコントラスト(濃淡)を調整		○	○	○	○	○	○
明るさ	調整	映像の明るさを調整(暗い部分に注目して調整)		○	○	○	○	○	○
シャープネス	調整	映像の先鋭さを調整(Y/Pb/Pr入力時は設定)		-	-	-	○	○	○
映像モード	明るさ優先	設定	画面の明るさを優先したモードに設定	○	○	○	-	-	-
	画質優先	設定	画面の色味を優先したモードに設定						
ビデオモード	自動	設定	ビデオモード(カラー復調方式)を自動判定モードに設定	-	-	-	-	○	○
	NTSC	設定	ビデオモードをNTSC方式に設定(固定)						
	PAL	設定	ビデオモードをPAL方式に設定(固定)						
	SECAM	設定	ビデオモードをSECAM方式に設定(固定)						
	PAL-N	設定	ビデオモードをPAL-N方式に設定(固定)						
	PAL-M	設定	ビデオモードをPAL-M方式に設定(固定)						
	PAL60	設定	ビデオモードをPAL60方式に設定(固定)						
	NTSC4.43	設定	ビデオモードをNTSC4.43方式に設定(固定)						
信号フォーマット	自動	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを自動判定モードに設定	-	-	-	○	-	-
	525i	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを525iモードに設定(固定)						
	525p	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを525pモードに設定(固定)						
	625i	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを625iモードに設定(固定)						
	750p	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを750pモードに設定(固定)						
	1125i	設定	Y/Pb/Pr入力の信号フォーマットを1125iモードに設定(固定)						
画面サイズ	フル	設定	1024×768ドットに変換して表示する	○	○	○	○	○	○
	スルー	設定	入力ソースの解像度で表示する	-	-	-	○	○	○
	ワイド	設定	ワイド画面で表示する	-	-	-	○	○	○
初期化	実行	フルメニュー [映像] の調整・設定を購入時の状態に戻す		○	○	○	○	○	○

■ お知らせ

- 「ビデオモード」または「信号フォーマット」を [自動] 以外のモードに設定した場合には、機能の一部に制限があります。**[51]**
- 調整や設定された状態は、**ON/STANDBY** ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整 [位置]

フルメニュー [位置] では、アナログ RGB 入力の映像位置などを調整できます。メニューの出しかたや操作のしかたについては、[43](#) [44](#) をご覧ください。

			入力ソースと項目の関係 ○：調整・設定できます －：表示されません					
			アナログRGB(1)	アナログRGB(2)	デジタルRGB	Y/Pb/Pr	ビデオ	S-ビデオ
水平位置	調整	映像の水平表示位置を調整	○	○	－	－	－	－
垂直位置	調整	映像の垂直表示位置を調整	○	○	－	－	－	－
サンプリング位相	調整	映像のちらつきを調整	○	○	－	－	－	－
サンプリング周波数	調整	細かい映像に縦縞が現れるときに調整	○	○	－	－	－	－
初期化	実行	フルメニュー [位置] の調整を購入時の状態に戻す	○	○	－	－	－	－

お知らせ

- アナログ RGB 入力以外ではこのメニューは表示されません。
- このメニューでの各項目の調整内容は、入力される RGB 信号の種類[63](#) ごとに記憶されます。
- 調整された状態は、ON/STANDBY ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定【色】

フルメニュー【色】では、映像の色について調整できます。
メニューの出しかたや操作のしかたについては、[43](#) [44](#)をご覧ください。

			入力ソースと項目の関係 ○：調整・設定できます －：表示されません					
			アナログRGB(1)	アナログRGB(2)	デジタルRGB	Y/Pb/Pr	ビデオ	S-ビデオ
色の濃さ	調整	映像の色の濃さを調整	－	－	－	○	○	○
色あい	調整	映像の色あいを調整(PAL, SECAM, PAL-N, PAL-M, PAL60では調整できません)	－	－	－	－	○	○
赤レベル	調整	映像の赤色の強さを調整	○	○	○	○	○	○
緑レベル	調整	映像の緑色の強さを調整	○	○	○	○	○	○
青レベル	調整	映像の青色の強さを調整	○	○	○	○	○	○
初期化	実行	フルメニュー【色】の調整を購入時の状態に戻す	○	○	○	○	○	○

■ お知らせ

- 調整された状態は、**ON/STANDBY** ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定【音声】

フルメニュー【音声】では、スピーカーから出力する音声の調整や設定ができます。メニューの出しかたや操作のしかたについては、[43](#) [44](#)をご覧ください。

				入力ソースと項目の関係 ○：調整・設定できます –：表示されません					
				アナログRGB(1)	アナログRGB(2)	デジタルRGB	Y/Pb/Pr	ビデオ	S-ビデオ
音量	調整	音量を調整		○	○	○	○	○	○
スピーカ出力	入り	設定	スピーカから音声を出力する	○ 共通				○ 共通	
	切り	設定	スピーカから音声を出力しない						
チャンネル切換	左+右	設定	右チャンネルと左チャンネルの音声をミックスして出力する	○ 共通				○ 共通	
	左	設定	左チャンネルの音声を出力する						
	右	設定	右チャンネルの音声を出力する						
ラウドネス	入り	設定	ラウドネス効果を加える	○ 共通				○ 共通	
	切り	設定	ラウドネス効果を加えない						
初期化	実行	フルメニュー【音声】の調整・設定を購入時の状態に戻す		○ 共通				○ 共通	

■ お知らせ

- すべての入力で設定をすることができますが、結果は表に示す関係で共通になります。音量は、入力ソースごとに調整できます。
- 調整や設定された状態は、**ON/STANDBY** ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定【表示】

フルメニュー【表示】では、メニュー表示方法の設定などができます。
メニューの出しかたや操作のしかたについては、**[43]** **[44]** をご覧ください。

			入力ソースと項目の関係 ○：調整・設定できます –：表示されません					
			アナログRGB(1)	アナログRGB(2)	デジタルRGB	Y/Pb/Pr	ビデオ	S-ビデオ
垂直台形補正	調整	垂直方向の設置角度を変えたときの台形歪みを調整						○ 全入力共通
水平台形補正	調整	水平方向の設置角度を変えたときの台形歪みを調整						○ 全入力共通
言語	English	設定	英語					○ 全入力共通
	Français	設定	フランス語					
	Deutsch	設定	ドイツ語					
	Italiano	設定	イタリア語					
	Español	設定	スペイン語					
	Português	設定	ポルトガル語					
	日本語	設定	日本語					
	中文(簡体字)	設定	中国語(簡体字)					
	中文(繁体字)	設定	中国語(繁体字)					
	한국어	設定	韓国語					
アイコン表示	入り	設定	アイコンを表示する					○ 全入力共通
	切り	設定	アイコンを表示しない					
メニュー位置	左上	設定	メニューを画面の左上に表示する					○ 全入力共通
	右上	設定	メニューを画面の右上に表示する					
	左下	設定	メニューを画面の左下に表示する					
	右下	設定	メニューを画面の右下に表示する					
メニュー背景半透明	入り	設定	メニューの背景を半透明にする					○ 全入力共通
	切り	設定	メニューの背景を半透明にしない					
初期化	実行	フルメニュー【表示】の調整・設定を購入時の状態に戻す						○ 全入力共通

お知らせ

- すべての入力で調整や設定をすることができますが、結果は共通になります。
- 信号が入力されていないとき、「メニュー背景半透明」の設定はできません。また、設定にかかわらずメニューの背景は半透明になりません。
- 調整や設定された状態は、**ON/STANDBY** ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの設定【初期設定】

フルメニュー「初期設定」では、入力ソースや設置状態などの設定ができます。メニューの出しかたや操作のしかたについては、**[43]** **[44]** をご覧ください。

入力設定	: ENTERでオン/オフ : (◀),(▶)でオン/オフ	COMPUTER IN 1	設定	: COMPUTER IN 1 端子をINPUTボタンで選択可能	○ 全入力共通
		アナログRGB(1)	設定	: COMPUTER IN 1 端子をアナログRGB(1)入力として使用	
		Y/Pb/Pr	設定	: COMPUTER IN 1 端子をY/Pb/Pr入力として使用	
		COMPUTER IN 2	設定	: COMPUTER IN 2 端子をINPUTボタンで選択可能	
		アナログRGB(2)	設定	: COMPUTER IN 2 端子をアナログRGB(2)入力として使用	
		デジタルRGB	設定	: COMPUTER IN 2 端子をデジタルRGB入力として使用	
		VIDEO	設定	: ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能	
		S-VIDEO	設定	: S-ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能	
設置状態	標準	設定	床置き正面投写をする	○ 全入力共通	
	背面	設定	床置き背面投写をする		
	天吊り	設定	天吊り正面投写をする		
	背面天吊り	設定	天吊り背面投写をする		
無信号背景	ロゴ	設定	信号が入力されないとき、ELMOロゴを表示する	○ 全入力共通	
	青画面	設定	信号が入力されないとき、画面全体を青色にする		
	なし	設定	信号が入力されないとき、何も表示しない(黒にする)		
無信号電源オフ	なし	設定	信号が入力されない状態が続いても電源をオフしない	○ 全入力共通	
	5分後オフ	設定	信号が入力されない状態が5分間続いたら電源をオフする		
電源オン	手動	設定	ON/STANDBYボタンで電源を入れる	○ 全入力共通	
	自動	設定	電源プラグを差し込んだとき電源を入れる		
スタート画面	入り	設定	電源を入れたときにスタート画面を表示する	○ 全入力共通	
	切り	設定	電源を入れたときにスタート画面を表示しない		
初期化	実行	フルメニュー「初期設定」の設定を購入時の状態に戻す			○ 全入力共通

お知らせ

- 入力ソースをひとつも選択しないでメニューを終了することはできません。
- 現在の入力ソースのチェックをオフにした場合は、次回の入力切替から有効になります。
- 「ビデオモード」**[46]**を「自動」以外に設定してビデオ入力かS-ビデオ入力を選んでいるとき、または「信号フォーマット」**[46]**を「自動」以外に設定してY/Pb/Pr入力を選んでいるとき、無信号を検出する機能（「無信号背景」、「無信号電源オフ」）は動きません。
- 「電源オン」を「自動」に設定した場合、電源プラグが差し込まれていると停電復旧後に本機の電源がオンになりますので、ご注意ください。
- 「電源オン」を「自動」に設定した場合でも、「無信号電源オフ」の設定「5分後オフ」は有効です。
- すべての入力で設定をすることができますが、結果は共通になります。
- 設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの設定【初期化】

- 「すべてを初期化」を実行すると、すべてのメニューでの調整・設定内容を、まとめて購入時(工場出荷時)の状態に戻すことができます。(下記の「水平基準値」も購入時の状態に戻ります。)
- 本機は水平の基準状態を記憶していますが、振動や衝撃などの使用環境によって、まれに基準が変動する可能性があります。スクリーンが垂直に設置された状態で、「自動垂直台形補正」[35](#)を実行をしても台形歪みが正しく自動調整されないときは、本機のアジャスター [20](#) をもとの状態に収納し、水平な場所に置いてから「水平基準値リセット」を実行してください。

すべてを初期化	実行	すべてのメニューの設定を購入時の状態に戻す
水平基準値リセット	実行	自動垂直台形補正の水平基準値をリセットする

■ お知らせ

- 本機のアジャスターを伸ばした状態や、本機を傾いた場所に置いた状態で「水平基準値リセット」を実行すると、正しい垂直台形自動調整ができなくなりますので、ご注意ください。
- 設定された状態は、**ON/STANDBY**ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

PIP メニューの設定

PIP 子画面が表示されているときに **MENU** ボタンを押すと、PIP 専用メニューが表示されます。このメニューでは、PIP 子画面の設定と PIP 子画面を表示したときの音声の設定ができます。メニューを消すときは、**EXIT** ボタンを押します。

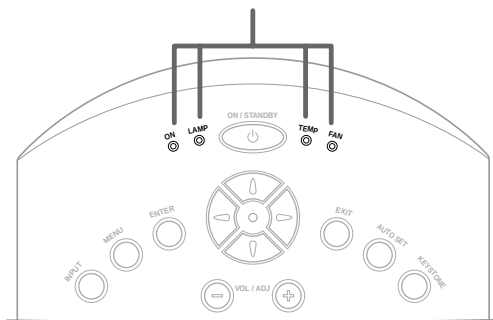
子画面	子画面の信号ソースを設定	
ビデオ	設定	●:ビデオ入力の子画面の信号ソースに設定
S-ビデオ	設定	●:S-ビデオ入力の子画面の信号ソースに設定
サイズ	子画面のサイズを設定	
小	設定	●:子画面のサイズを小に設定
中	設定	●:子画面のサイズを中に設定
大	設定	●:子画面のサイズを大に設定
位置	子画面の表示位置を設定	
	設定	●:子画面を画面の左上に表示する
	設定	●:子画面を画面の右上に表示する
	設定	●:子画面を画面の左下に表示する
	設定	●:子画面を画面の右下に表示する
音声	音声の信号ソースを設定	
親画面	設定	●:親画面の音声をスピーカーから出力する
子画面	設定	●:子画面の音声をスピーカーから出力する
初期化	実行	PIPメニューの設定を購入時の状態に戻す

■ お知らせ

- PIP 子画面のサイズは、親画面の信号の種類(解像度)によって変化します。
- PIP 子画面を消すと、音声の入力ソースはもとに(親画面に)戻ります。
- 設定された状態は、**ON/STANDBY** ボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

内部に異常が生じると、インジケーターが点灯して異常を知らせます。

インジケーター



本体操作部

	電源が入らない。 ⇒本機の異常です。 • 電源プラグを抜き、販売店に連絡してください。
	使用中にランプが消えた、またはランプが点灯しない。 ⇒約2分後にスタンバイ状態に戻ります。再度電源を入れても正常に動作しない場合は、ランプの寿命または本機の異常です。 • ランプが切れたときは、新しいランプに交換してください。 58 • 電源プラグを抜き、販売店に連絡してください。
	使用中に電源が切れた、または入らない。 ⇒内部が高温になっている。または気温の高いところで使っている。 • 吸気ファン、排気ファンの通気孔をふさがないように設置してください。 • 電源プラグを抜いてしばらく放置してから、再度電源を入れます。 • エアフィルターを掃除してください。 55 ※電源が切れる前にアイコン  が表示されます。 ※約2分間の異常表示を終了すると、スタンバイ状態に戻ります。
	使用中に電源が切れた、または入らない。 ⇒本機内部の冷却ファンの異常です。 • 電源プラグを抜き、販売店に連絡してください。 ※電源が切れる前にアイコン  が表示されます。 ※約2分間の異常表示を終了すると、スタンバイ状態に戻ります。
	使用中に電源が切れた、または入らない。 ⇒ランプカバーが正しく取り付けられていません。 • 電源プラグを抜き、ランプカバーを取り付けなおしてください。 59 ※電源が切れる前にアイコン  が表示されます。 ※約2分間の異常表示を終了すると、スタンバイ状態に戻ります。

お願い

- 異常時には電源プラグを抜いてください。
- ランプが冷却される前に抜いた電源プラグを再度差し込むときは、ランプが十分に冷えるのを待ってください。ランプが高温になっていると、点灯しないことがあり、寿命が短くなります。

⚠ 警告

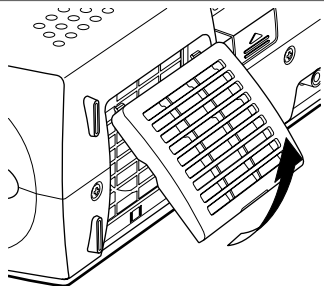
天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販売店にご依頼ください。

エアフィルターカバー内のフィルターは、内部へのほこりやごみの侵入を防ぐ部品です。フィルターをはずした状態での使用はおやめください。

エアフィルターは、こまめに掃除をしていたくことをおすすめします。(使用時間が50時間に1回が清掃の目安です。)

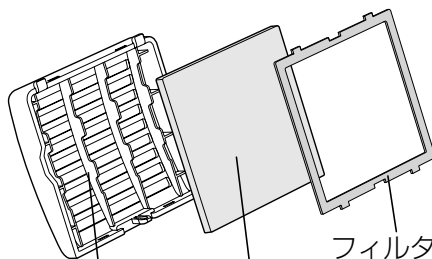
1 電源コードを抜く

2 エアフィルターカバーをはずす



エアフィルターカバーは右側面にあります。エアフィルターカバーの下側からはずしてください。

3 エアフィルターを取り出す

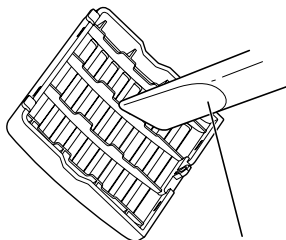


エアフィルター
エアフィルターカバー

フィルターおさえ

エアフィルターカバーからエアフィルターを取りはずします。エアフィルターカバー、エアフィルター、フィルターおさえに分解できます。

4 掃除をする



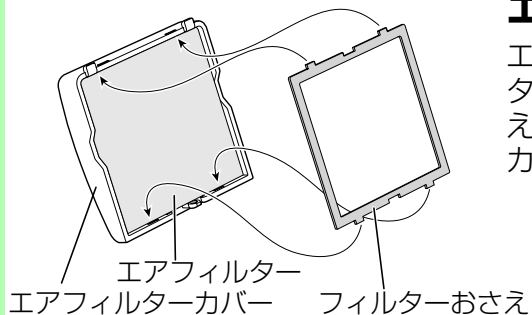
掃除機ノズル

エアフィルターカバー、エアフィルター、フィルターおさえのほこりや汚れを掃除機でいてに吸いとります。エアフィルターが掃除機に吸い込まれないようにご注意ください。

■お知らせ

- エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなってプロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
- エアフィルターカバーは最後まできちんとはめてください。きちんとはまっていないと、内部へほこりやごみが侵入し映像にうつってしまいます。
- エアフィルターを水洗いしたときには、完全に乾いてから取り付けてください。ぬれたままでご使用になると、故障の原因となります。
- エアフィルターが傷んだときは、販売店にご相談のうえ、新しいものと交換してください。傷んだままでご使用になると、内部へほこりやごみが侵入し映像にうつってしまいます。

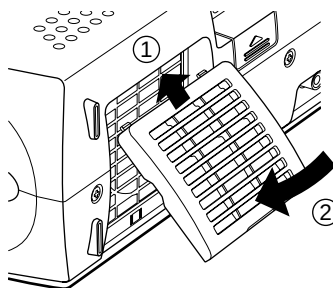
5



エアフィルターを組み立てる

エアフィルターカバーにエアフィルターを入れてから、フィルターおさえの突起(4箇所)をエアフィルターカバーの穴にはめ込みます。

6

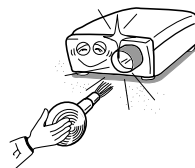


エアフィルターカバーを取り付ける

エアフィルターカバーの上側を先に本体にはめてから、下側を押して取り付けます。

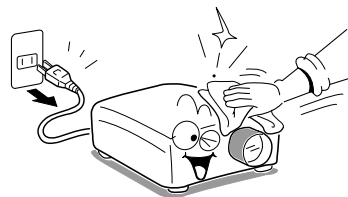
⚠ 警告

天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販売店にご依頼ください。



レンズの清掃

- レンズは、市販のブローワーやレンズクリーナーで清掃してください。
- レンズの表面は傷つきやすいため、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。



本体の清掃

- 電源コードを抜いてから清掃をしてください。
- 本体の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふきとってから乾いた布で仕上げてください。

吸気、排気ファン、エアフィルターの交換

性能維持のため、2～3年を目安に交換をおすすめします。
お買い上げの販売店にご依頼ください。

本機に使用している光源用ランプには寿命があります。長時間使用しますと映像が暗くなったり、ランプが切れて点灯しなくなったりすることがあります。(ランプの寿命は使用状態によって異なります。) このようなときは、新しいランプと取り換えてください。

⚠ 警告

- 天吊り設置での清掃やランプ交換などのメンテナンスは、販売店にご依頼ください。
- 交換は必ず本機専用のランプ EDPL70(別売)を使用すること。詳しくは、EDPL70の説明書を併せてご覧ください。

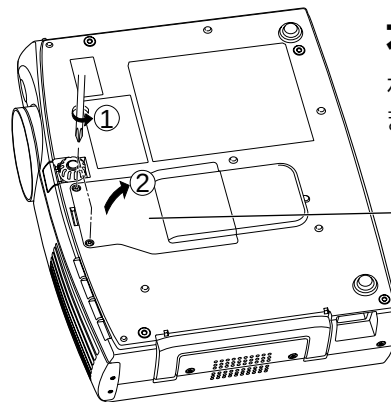
⚠ 注意

- 使用直後のランプは高温になっていますので、さわるとやけどの原因となります。十分に冷えてから(1時間以上待ってから)ランプの交換をしてください。
- 万一、ランプが割れた際には、ガラス破片などがなをしないように取り扱いに注意し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

1 電源コードを抜く

2 ランプが十分に冷えるのを待つ

3

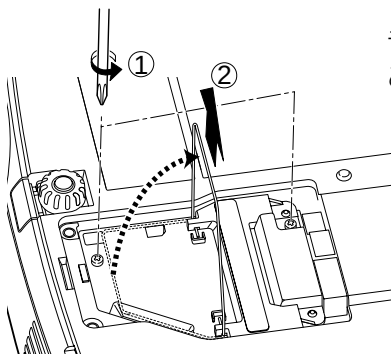


本体底部のランプカバーをはずす

ねじ2個を回してゆるめ、ランプカバーをはずします。

ランプカバー

4



ランプを引き出す

ランプ固定ねじ2個を回してゆるめ、取っ手をおこしてランプを引き上げます。

■ お知らせ

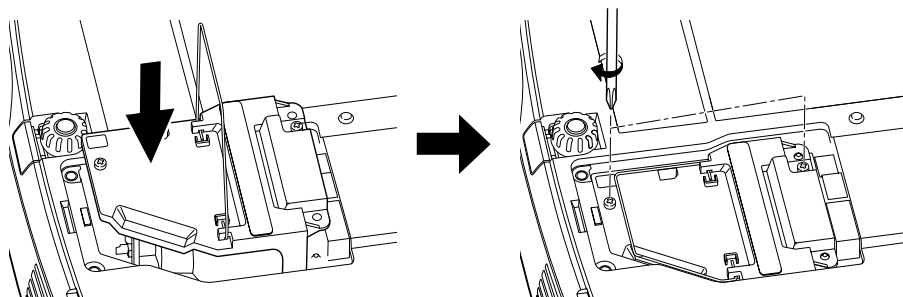
- **CALL** ボタンを押すと、「ランプ時間」としてランプの使用経過時間(目安)を表示します。**[41]**
- ランプ交換は約1000時間を目安に交換をおすすめします。
「ランプ時間」表示が1000H(1000時間)に達すると、

アイコン  とメッセージが表示されるようになります。この表示は何か操作をすると消えます。

- ランプカバーは、最後まできちんとはめてください。正しく取り付けられていないとランプが点灯しません。
- ランプを交換するときは必ず新品のランプに交換してください。
- ランプはガラス製品ですので、ガラス面を素手でさわったり、強い衝撃をあたえたり、傷つけたりしないでください。
- 本機のランプには、環境に有害な微量の無機水銀が使われています。
使用済みのランプは、破損させないように取扱に注意し、蛍光灯などと同様の有害ごみとして分別廃棄してください。また、分別収集している自治体では、その条例に基づいて廃棄してください。

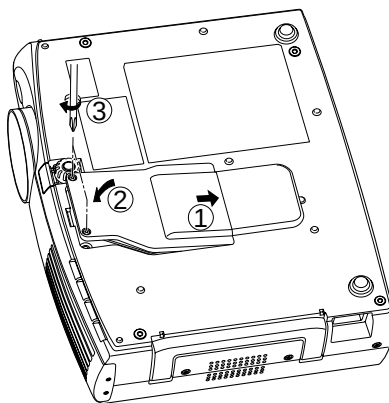
5 新しいランプを取り付ける

方向を合わせ、下にあたるまで差し込み、ランプ固定ねじ2個を回してしめます。



6 ランプカバーを取り付ける

方向を合わせて差し込み、ねじ2個を回してしめます。



7 ランプタイマーをリセットする

リセットのしかたについては、ランプの説明書をご覧ください。

故障かな…と思ったときは

60

故障かな？…とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

インジケーターによる異常表示のページもご覧ください。[54](#)➤

現 象	原 因	処 置	参照ページ
電源が入らない。	・ 電源コードが抜けている。	電源コードをしっかり差し込む。	19
	・ ランプカバーがはずれている。	ランプカバーをきちんとはめる。	59
使用中に電源が切れる。	・ 使用している周囲の温度が高い。	使用している周囲の温度を下げて、電源を入れ直す。	54
映像が出ない。	・ レンズキャップが付いている。	レンズキャップをはずす。	19
	・ 入力切り換えが間違っている。	正しく選択する。	30
	・ ミュート機能が働いている。	MUTE ボタンを押してミュートを解除する。	37
	・ 明るさ調整が最も暗くなっている。	明るさを調整する。	45
	・ 本体への接続が正しくされていない。	本体へ正しく接続する。	22 ～ 25
音声がでない。	・ 入力切り換えが間違っている。	正しく選択する。	30
	・ ミュート機能が働いている。	MUTE ボタンを押してミュートを解除する。	37
	・ 音量が最小になっている。	音量を調整する。	32
	・ 本体への接続が正しくされていない。	本体へ正しく接続する。	22 ～ 25
INPUT ボタンで希望の入力ソースが選べない。	・ INPUT ボタンで選べる入力設定になっていない。 出荷時状態ではRGB1とビデオ入力以外は選べません。	INPUT ボタンで選べるように、メニュー画面で設定する。 または INPUT ボタンを2秒間押しつづけてから選ぶ。	45 30
RGB1入力またはY/Pb/Pr入力の色が正しくない。	・ COMPUTER IN 1 端子の入力設定が間違っている。	メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。	45
RGB2入力映らない。	・ COMPUTER IN 2 端子の入力設定が間違っている。	メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。	45
	・ 信号ケーブルの種類が違っている。	適合する信号ケーブルを使用する。	23
デジタルRGB入力映らない。	・ COMPUTER IN 2 端子の入力設定が間違っている。	メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。	45
	・ 信号ケーブルの種類が違っている。	適合する信号ケーブルを使用する。	23
映像がぼやける。または、映像の一部しかピントが合わない。	・ レンズが汚れている。	市販のプロワーやレンズクリーナーでレンズを清掃する。	57
	・ ピントが合っていない。	ピントを合わせる。	31
	・ 投写距離が合っていない。	投写距離を正しく設定する。	18
	・ 投写角度を傾けすぎている。	投写角度の傾けすぎを直す。	18
	・ 明るさ、コントラスト、画質、サンプリング位相などの調整が合っていない。	映像の調整をする。	45
映像が暗い。	・ 明るさ、コントラストの調整が合っていない。	映像の調整をする。	45
	・ ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換する。	58

(つづく)

そ
の
他

故障かな…と思ったときは（つづき）

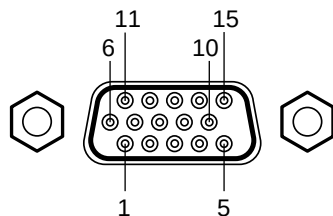
61

現 象	原 因	処 置	参照ページ
色がうすい。色あいが悪い。	・色の濃さ、色あい、赤レベル、緑レベル、青レベルの調整が合っていない。	色の調整をする。	48
	・ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換する。	58
リモコンが働かない。	・リモコンが受光部に向いていない。	リモコンの発光部をプロジェクターの受光部に向ける。	16
	・リモコンと受光部の間が遠すぎる。	約5m以内のところで操作する。	16
	・リモコンと受光部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。	—
	・リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する。	15
リモコンでマウス機能が使えない。	・USBケーブルが正しく接続されていない。	USBケーブルを正しく接続する。	42
	・コンピューターやO.Sが対応していない。	リモコンのマウス機能を使用できません。	—
	・リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する。	15

COMPUTER IN, MONITOR OUT 端子のピン配列

62

COMPUTER IN 1 MONITOR OUT

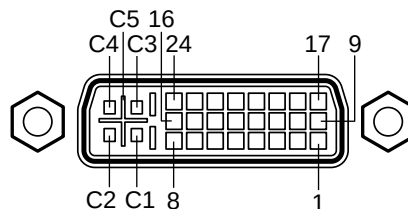


ミニ D-sub 15 ピンコネクタ

入力信号

- アナログ RGB 入力
R, G, B 信号: 0.7V(p-p) 75Ω
水平同期信号:TTL レベル (正 / 負極性)
垂直同期信号:TTL レベル (正 / 負極性)
- Y/Pb/Pr 入力
Y 信号: 1.0V(p-p) 75Ω
Pb, Pr 信号: 0.7V(p-p) 75Ω

COMPUTER IN 2



DVI ANALOG & DIGITAL コネクタ

アナログ系入力信号

- アナログ RGB 入力
R, G, B 信号: 0.7V(p-p) 75Ω
水平同期信号:TTL レベル (正 / 負極性)
垂直同期信号:TTL レベル (正 / 負極性)

ピン番号	信号内容	
	RGB入力時	Y/Pb/Pr入力時
1	映像信号(R)	色差信号(P _R)
2	映像信号(G)	輝度信号(Y)
3	映像信号(B)	色差信号(P _B)
4	GND	※
5	GND	※
6	GND(R)	GND(P _R)
7	GND(G)	GND(Y)
8	GND(B)	GND(P _B)
9	N.C	※
10	GND	※
11	GND	※
12	DDCデータ	※
13	水平同期信号	※
14	垂直同期信号	※
15	DDCクロック	※

ピン番号	信号内容	ピン番号	信号内容
1	T.M.D.S. データ 2 -	16	ホットプラグ検出
2	T.M.D.S. データ 2 +	17	T.M.D.S. データ 0 -
3	T.M.D.S. データ 2 / 4 シールド	18	T.M.D.S. データ 0 +
4	T.M.D.S. データ 4 -	19	T.M.D.S. データ 0 / 5 シールド
5	T.M.D.S. データ 4 +	20	T.M.D.S. データ 5 -
6	DDCクロック	21	T.M.D.S. データ 5 +
7	DDCデータ	22	T.M.D.S. クロックシールド
8	アナログ垂直同期信号	23	T.M.D.S. クロック+
9	T.M.D.S. データ 1 -	24	T.M.D.S. クロッカー
10	T.M.D.S. データ 1 +	C1	アナログ映像信号(R)
11	T.M.D.S. データ 1 / 3 シールド	C2	アナログ映像信号(G)
12	T.M.D.S. データ 3 -	C3	アナログ映像信号(B)
13	T.M.D.S. データ 3 +	C4	アナログ水平同期信号
14	+5V電源	C5	アナログGND(R,G & B)
15	GND(+5V, H Sync & V Sync)		

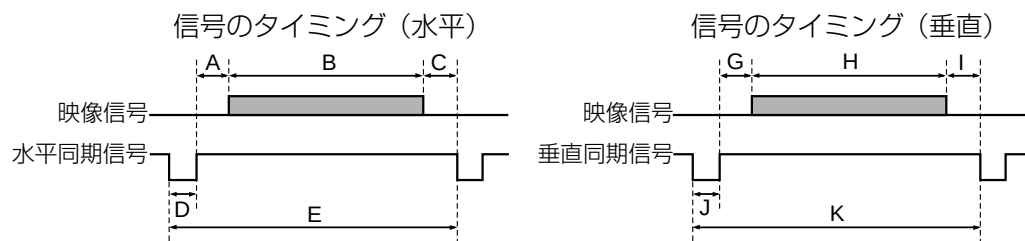
※何も接続しないでください。

対応可能な RGB 信号

本機は下記の RGB 信号について対応可能です。ただし、コンピューターの機種によっては異なることがありますので、画面にちらつきやにじみがあるときは、画面調整をしてください。

タイムチャート

モード	解像度	A (画素数)	B (画素数)	C (画素数)	D (画素数)	E (画素数)	fh (kHz)	fv (Hz)	clock (MHz)	G (ライン数)	H (ライン数)	I (ライン数)	J (ライン数)	K (ライン数)
TEXT70	640 x 350	50	640	14	96	800	31.469	70.086	25.175	59	350	38	2	449
TEXT70	640 x 400	50	640	14	96	800	31.469	70.086	25.175	34	400	13	2	449
TEXT85	640 x 350	96	640	32	64	832	37.861	85.080	31.500	60	350	32	3	445
TEXT85	640 x 400	96	640	32	64	832	37.861	85.080	31.500	41	400	1	3	445
NEC PC98 24k	640 x 400	85	640	59	64	848	24.820	55.900	21.047	25	400	11	8	444
VGA60	640 x 480	48	640	16	96	800	31.469	59.940	25.175	33	480	10	2	525
VGA72	640 x 480	128	640	24	40	832	37.861	72.809	31.500	28	480	9	3	520
VGA75	640 x 480	120	640	16	64	840	37.500	75.000	31.500	16	480	1	3	500
VGA85	640 x 480	80	640	56	56	832	43.269	85.008	36.000	25	480	1	3	509
MAC13"	640 x 480	96	640	64	64	864	35.000	66.667	30.240	39	480	3	3	525
SVGA56	800 x 600	128	800	24	72	1024	35.156	56.250	36.000	22	600	1	2	625
SVGA60	800 x 600	88	800	40	128	1056	37.879	60.317	40.000	23	600	1	4	628
SVGA72	800 x 600	64	800	56	120	1040	48.077	72.188	50.000	23	600	37	6	666
SVGA75	800 x 600	160	800	16	80	1056	46.875	75.000	49.500	21	600	1	3	625
SVGA85	800 x 600	152	800	32	64	1048	53.674	85.061	56.250	27	600	1	3	631
MAC16"	832 x 624	216	832	40	64	1152	49.725	74.550	57.283	39	632	1	3	667
XGA43i	1024 x 768	56	1024	8	176	1264	35.522	43.479	44.900	20	768	0	4	817
XGA60	1024 x 768	160	1024	24	136	1344	48.363	60.004	65.000	29	768	3	6	806
XGA70	1024 x 768	144	1024	24	136	1328	56.476	70.069	75.000	29	768	3	6	806
XGA75	1024 x 768	176	1024	16	96	1312	60.023	75.029	78.750	28	768	1	3	800
XGA85	1024 x 768	208	1024	48	96	1376	68.677	84.997	94.500	36	768	1	3	808
MAC19"	1024 x 768	180	1024	20	96	1320	60.197	74.872	73.200	30	768	3	3	804



対応可能な信号について（つづき）

64

タイムチャート（つづき）

モード	解像度	A (画素数)	B (画素数)	C (画素数)	D (画素数)	E (画素数)	fh (kHz)	fv (Hz)	clock (MHz)	G (ライン数)	H (ライン数)	I (ライン数)	J (ライン数)	K (ライン数)
*SXGA1152x864 75Hz	1152 x 864	256	1152	64	128	1600	67.500	75.000	108.000	32	864	1	3	900
*SXGA1280x960 60Hz	1280 x 960	312	1280	96	112	1800	60.000	60.000	108.000	36	960	1	3	1000
*SXGA1280x960 85Hz	1280 x 960	224	1280	64	160	1728	85.938	85.002	148.500	47	960	1	3	1011
*SXGA1280x1024 60Hz	1280 x 1024	248	1280	48	112	1688	63.981	60.020	108.000	38	1024	1	3	1066
*SXGA1280x1024 75Hz	1280 x 1024	248	1280	16	144	1688	79.976	75.025	135.000	38	1024	1	3	1066
*SXGA1280x1024 85Hz	1280 x 1024	224	1280	64	160	1728	91.146	85.024	157.500	44	1024	1	3	1072
*UXGA60	1600 x 1200	304	1600	64	192	2160	75.000	60.000	162.000	46	1200	1	3	1250
*UXGA65	1600 x 1200	304	1600	64	192	2160	81.250	65.000	175.500	46	1200	1	3	1250
*UXGA70	1600 x 1200	304	1600	64	192	2160	87.500	70.000	189.000	46	1200	1	3	1250
*UXGA75	1600 x 1200	304	1600	64	192	2160	93.750	75.000	202.500	46	1200	1	3	1250

■ お知らせ

- ・ *印の信号ソースでは圧縮表示されるため、一部情報が欠落したり画質が劣化する場合があります。
- ・ コンピュータ入力の場合、ドットクロック周波数が165MHzを越える信号ソースではすべての画素信号をサンプリングできません。
- ・ デジタルRGB入力では、ドットクロック周波数が162MHzを越える信号ソースに対応できません。

対応可能なビデオ／S-ビデオ信号

モード	fh(kHz)	fv(Hz)	fsc(MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 or 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

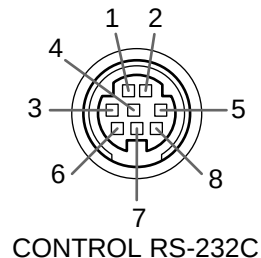
対応可能な Y/Pb/Pr 信号

モード	fh(kHz)	fv(Hz)
525i	15.73	59.94
525p	31.47	59.94
625i	15.63	50.00
750p	45.00	60.00
1125i	33.75	60.00

RS-232C 端子を使って操作する

RS-232C 端子にコンピューターからのコマンド信号を入力して、本機をコントロールすることができます。

RS-232C 端子のピン配列



ピン番号	信号名	内容
1	RXD	受信データ
2	CTS	送信可
3	DSR	データセットレディ
4	GND	信号グランド
5	RTS	送信要求
6	N.C	ノンコネクション
7	TXD	送信データ
8	N.C	ノンコネクション

インターフェースのフォーマット

- 通信方法 RS-232C
9600bps, パリティなし, データ長: 8ビット,
ストップビット: 1ビット
- 通信フォーマット

STX (02h)	Command (3Byte)	ETX (03h)
-----------	-----------------	-----------

一回の通信で1コマンドのみ有効。
- データフォーマット 入力コマンドはASC II 準拠の英数。大文字のみ。
- 返信 応答

ACK (06h)

 非応答

NAK (15h)

コマンド一覧表

分類	項目・状態	選択コマンド	調整コマンド	アナログRGB1 アナログRGB2	デジタルRGB	ビデオ S-ビデオ	Y/Pb/Pr
電源	オン	PON	—	○	○	○	○
	オフ(確認メッセージあり)	POF	—	○	○	○	○
	シャットダウン(確認メッセージなし)	PSD	—	○	○	○	○
ノーマル(RS-232Cの状態表示をオフ)		DOF	—	○	○	○	○
映像 (つづく)	コントラスト	VCN	○	○	○	○	○
	明るさ	VBR	○	○	○	○	○
	シャープネス	VSH	○	—	—	○	○
	映像モード	明るさ優先 MVB	—	○	○	—	—
		画質優先 MVP	—	○	○	—	—

■ お知らせ

- コマンドを続けて送信する場合は、次のコマンドを送る前にプロジェクターの応答(ACK, NAK)を待ってください。
- 調整コマンドには、調整値増加:[ARG]と調整値減少:[ALF]があります。使用可能な項目(○印)で、選択コマンドのあとに送信してください。
- 各入力ソースの欄の○印は、そのコマンドが使用できることを表します。

(つづく)

RS-232C 端子を使って操作する（つづき）

66

分類	項目・状態		選択コマンド	調整コマンド	アナログRGB1 アナログRGB2	デジタルRGB	ビデオ S-ビデオ	Y/Pb/Pr
映像 (つづき)	ビデオモード	自動	KV0	—	—	—	○	—
		NTSC	KV1	—	—	—	○	—
		PAL	KV2	—	—	—	○	—
		SECAM	KV3	—	—	—	○	—
		PAL-N	KV4	—	—	—	○	—
		PAL-M	KV5	—	—	—	○	—
		PAL60	KV6	—	—	—	○	—
		NTSC4.43	KV7	—	—	—	○	—
	信号フォーマット	自動	SG0	—	—	—	—	○
		525i	SG1	—	—	—	—	○
		525p	SG2	—	—	—	—	○
		625i	SG3	—	—	—	—	○
		750p	SG4	—	—	—	—	○
		1125i	SG5	—	—	—	—	○
	画面サイズ	フル	MSF	—	○	○	○	○
		スルー	MST	—	○	○	○	○
		ワイド	MSW	—	—	—	○	○
	映像初期化		DRV	—	○	○	○	○
位置	水平位置		PHP	○	○	—	—	—
	垂直位置		PVP	○	○	—	—	—
	サンプリング位相		PPH	○	○	—	—	—
	サンプリング周波数		PCK	○	○	—	—	—
	位置初期化		DRP	—	○	—	—	—

そ
の
他

(つづく)

RS-232C 端子を使って操作する (つづき)

67

分類	項目・状態		選択コマンド	調整コマンド	アナログRGB1 アナログRGB2	デジタルRGB	ビデオ S-ビデオ	Y/Pb/Pr
色	色の濃さ		VCL	○	—	—	○	○
	色あい		VTN	○	—	—	○ *	—
	赤レベル		VLR	○	○	○	○	○
	緑レベル		VLG	○	○	○	○	○
	青レベル		VLB	○	○	○	○	○
	色初期化		DRC	—	○	○	○	○
音声	音量	増加	VLU	—	○	○	○	○
		減少	VLD	—	○	○	○	○
	スピーカ出力	入り	AS1	—	○	○	○	○
		切り	AS0	—	○	○	○	○
	チャンネル切換(ピン)	左+右	APA	—	—	—	○	—
		左	APL	—	—	—	○	—
		右	APR	—	—	—	○	—
	ラウドネス(ピン)	切り	LR0	—	—	—	○	—
		入り	LR1	—	—	—	○	—
	チャンネル切換(ミニ)	左+右	AMA	—	○	○	—	○
		左	AML	—	○	○	—	○
		右	AMR	—	○	○	—	○
	ラウドネス(ミニ)	切り	LM0	—	○	○	—	○
		入り	LM1	—	○	○	—	○
音声初期化		DRA	—	○	○	○	○	
表示	垂直台形補正		PKV	○	○	○	○	○
	水平台形補正		PKH	○	○	○	○	○
	台形補正初期化		DRK	—	○	○	○	○
	言語	英語	LEN	—	○	○	○	○
		フランス語	LFR	—	○	○	○	○
		ドイツ語	LGR	—	○	○	○	○
		イタリア語	LIT	—	○	○	○	○
		スペイン語	LSP	—	○	○	○	○
		ポルトガル語	LPO	—	○	○	○	○
		日本語	LJP	—	○	○	○	○
		中国語(簡体字)	LPK	—	○	○	○	○
		中国語(繁体字)	LKT	—	○	○	○	○
		韓国語	LKK	—	○	○	○	○
	(つづく)							

*印はPAL/SECAM では使用できません。

(つづく)

そ
の
他

68

その他

(つづく)

RS-232C 端子を使って操作する (つづき)

69

分類	項目・状態		選択コマンド	調整コマンド	アナログRGB1 アナログRGB2	デジタルRGB	ビデオ S-ビデオ	Y/Pb/Pr
初期設定 (つづき)	スタート画面	入り	MS0	—	○	○	○	○
		切り	MS1	—	○	○	○	○
	初期設定初期化		DRI	—	○	○	○	○
初期化	すべてを初期化		DRS	—	○	○	○	○
	水平基準値リセット		PKR	—	○	○	○	○
状態表示 (CALL)			DON	—	○	○	○	○
入力切換	トグル		IN0	—	○	○	○	○
	COMPUTER-1		IN1	—	○	○	○	○
	COMPUTER-2		IN2	—	○	○	○	○
	VIDEO		IN3	—	○	○	○	○
	S-VIDEO		IN4	—	○	○	○	○
RESIZE	拡大倍率を上げる		RUP	—	○	○	○	○
	拡大倍率を下げる(最小はリセット状態)		RDW	—	○	○	○	○
	拡大画像の移動	上へ	PO1	—	○	○	○	○
		下へ	PO2	—	○	○	○	○
		左へ	PO3	—	○	○	○	○
		右へ	PO4	—	○	○	○	○
	拡大をリセット		RS0	—	○	○	○	○
FREEZE	オン		FON	—	○	○	○	○
	オフ		FOF	—	○	○	○	○
MUTE	オン		MON	—	○	○	○	○
	オフ		MOF	—	○	○	○	○
PIP (つづく)	オン		PIN	—	○	○	—	—
	オフ		PIF	—	○	○	—	—
	PIP子画面入力ソース	ビデオ	PI0	—	○	○	—	—
		S-ビデオ	PI1	—	○	○	—	—
	PIPサイズ	小	PS0	—	○	○	—	—
		中	PS1	—	○	○	—	—
		大	PS2	—	○	○	—	—
	PIP位置	左上	PP0	—	○	○	—	—
		右上	PP1	—	○	○	—	—
		左下	PP2	—	○	○	—	—
		右下	PP3	—	○	○	—	—

(つづく)

そ
の
他

RS-232C 端子を使って操作する（つづき）

70

分類	項目・状態		選択コマンド	調整コマンド	アナログRGB1 アナログRGB2	デジタルRGB	ビデオ S-ビデオ	Y/Pb/Pr
PIP (つづき)	PIP音声入力ソース	親画面	PA0	—	○	○	—	—
		子画面	PA1	—	○	○	—	—
	PIP初期化		DRW	—	○	○	—	—
AUTO SET			PAT	—	○	—	—	—
自動垂直台形補正			PKA	—	○	○	○	○

本体部

消費電力	300W(スタンバイ時:20W)
質量	4.2kg
外形寸法(突起部除く)	幅 334mm、高さ 94mm、奥行き 268 mm
キャビネット材質	PC+ABS 樹脂および ABS 樹脂
使用環境条件	温度：0℃～35℃、相対湿度：30%～70%
ランプ	高圧水銀ランプ
投写画面サイズ	32 ～ 300 型
投写距離	1.42 ～ 11.02 m
スピーカー	1 W (モノラル)

接続端子

- COMPUTER IN 1 端子 ミニDサブ 15 ピン アナログ RGB / Y/P_B/P_R(兼用)
- COMPUTER IN 2 端子 DVI コネクタ アナログ RGB / デジタル RGB(兼用)
- MONITOR OUT 端子 ミニDサブ 15 ピン アナログ RGB / Y/P_B/P_R(兼用)
- S-VIDEO 端子 ミニ DIN 4 ピン
- VIDEO 端子 1V(p-p)、75Ω、RCA ピンジャック
- AUDIO(L/R) 端子 1.3V(rms)、22kΩ 以上、RCA ピンジャック×2
- AUDIO IN 端子 1.3V(rms)、22kΩ 以上、φ3.5mmステレオミニジャック
- CONTROL 端子 ミニ DIN 8 ピン(RS-232C)
- USB 端子 タイプ B

液晶パネル部

表示方法	透過型 3 板式
パネルサイズ	0.9 型
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	786,432 画素(横 1024 × 縦 768 ドット)×3

投写レンズ部

レンズ	ズームレンズ F=1.7 ～ 2.1 f=33.6 ～ 42mm
フォーカス調整	手動式
ズーム調整	手動式

付属品

取扱説明書(簡易版)	1冊
取扱説明書(CD-ROM 版).....	1個
ワイヤレスリモコン	1個
単三乾電池	2個
電源コード	1本
RGB ケーブル	1本(3m)
DVI アナログケーブル	1本(2m)
Mac 用アダプター.....	1個
A V ケーブル	1本(3m)
音声ケーブル(コンピューター用).....	1本(3m)
コントロールケーブル	1本(1.8m)
USB ケーブル	1本(2m)
キャリングケース	1個

別売品

交換用ランプ 型番 EDPL70

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

商標について

NEC、PC-98 シリーズは日本電気株式会社の商標です。

VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Display Data Channel は Video Electronics Standard Association の商標です。

●必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 …… お買い上げの日から1年間です。ただし、ランプについては消耗品扱いとなります。

補修用性能部品の最低保有期間

- 液晶データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理を依頼される時は～持ち込み修理

60,61ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、必ず差込みプラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	液晶データプロジェクター
形名	EDP-4800
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。	
便利メモ お買い上げ店名	でんわ () -

長年ご使用の液晶データプロジェクターの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながる可能性があります。

ご使用の際、このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 電源プラグ、コードが異常に熱い。
- 変な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- 煙が出たりする。
- その他の異常や故障がある。

●ご使用中止●

このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理・改造は危険ですので、絶対にしないでください。



愛情点検

液晶データプロジェクターは、このように正しくお使いください。

●電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。

ELMO® 株式会社 エルモ社

本 社 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 ☎(052)811-5131 〒467-8567

東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎(03)3453-6471 〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571 〒467-8567
大阪支店	大阪府中央区東高麗橋2番4号	☎(06)6942-3221 〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ祇園2階	☎(092)281-4131 〒812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北4条西15丁目1番40号	☎(011)631-8636 〒060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル	☎(022)266-3255 〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 広島ドルチェ	☎(082)248-4800 〒730-0041

URL: <http://www.elmo.co.jp>

*所在地電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。